

建設部

実施計画事業

令和6年度 事務事業等の総点検

事務事業名	交通安全教室事業	所管部課名	建設部
			土木計画課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	交通安全対策基本法第4条、第38条						
実施計画	大柱	地域で支え合う福祉のまちの再興				分野別計画	
	中柱	安全・安心のまちづくり					
	小柱						
目標	交通安全教育を通して、交通ルールやマナーの習得と交通安全意識の向上を図り、交通安全を推進する。						
目標達成に必要なこと	専門的スキルと経験を有する者による、幼児から高齢者まで各世代に応じた効果的な交通安全教室の実施。						
具体的な事業内容	会計年度任用職員として「交通安全教育指導員（※横須賀市交通安全教育指導員設置要綱に基づく。以下、指導員と表記。）」を雇用し、各種交通安全教室を実施する。 (1)小学校1年生交通安全教室 (3)小学校5年生自転車交通安全教室 (5)幼児交通安全教室 (2)小学校3年生自転車交通安全教室 (4)横断指導旗交通安全教室 (6)高齢者交通安全教室						

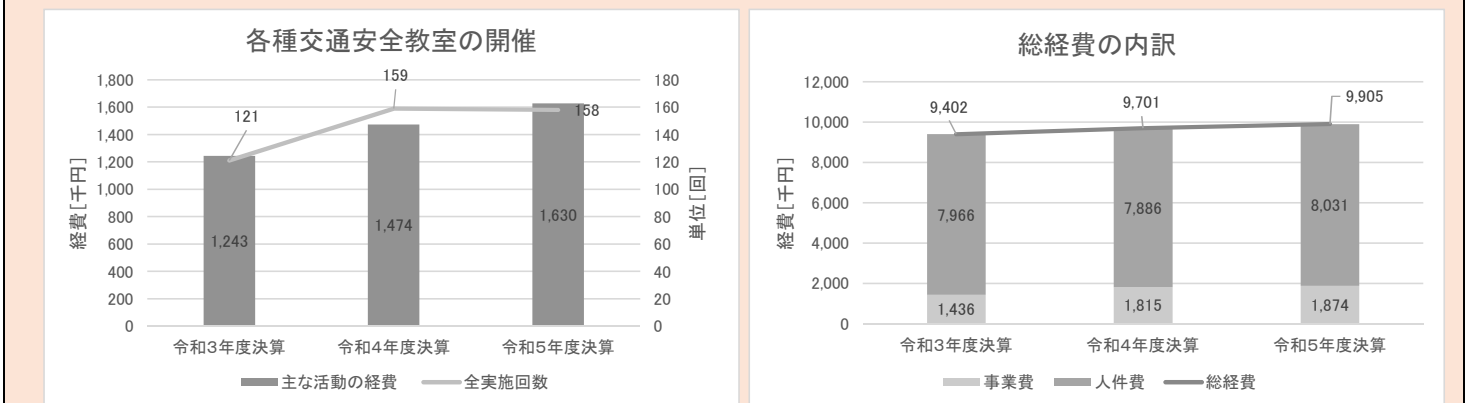
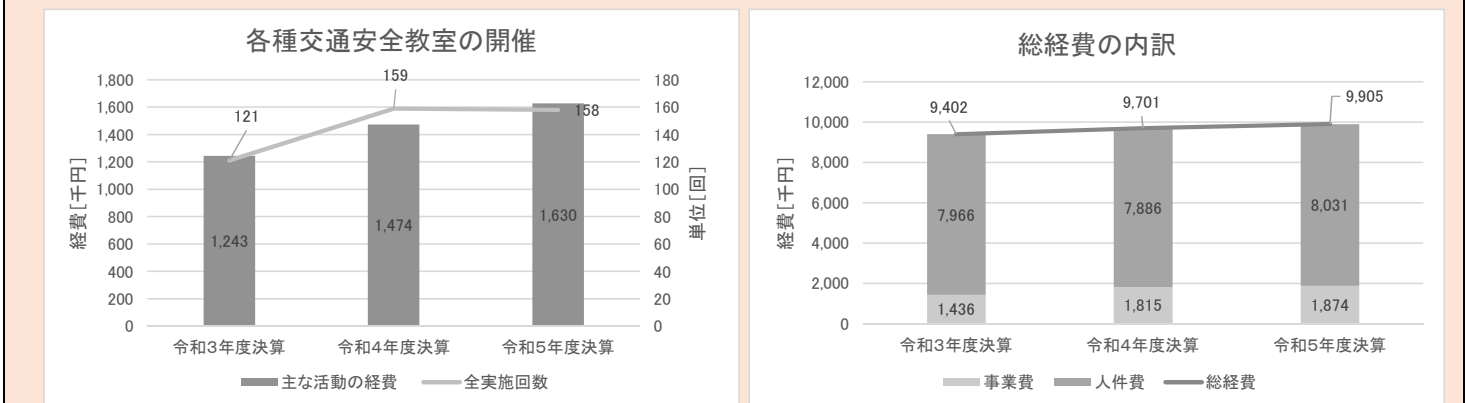
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにに行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 各種交通安全教室の開催	全実施回数	121	159	158	回
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 教室用車両の使用及び維持管理	全使用回数	74	112	114	回
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,436	1,815	1,874	2,063	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	1,243	1,474	1,630	1,893	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	193	341	244	170	千円
b 人件費	7,966	7,886	8,031	8,073	千円
正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	5,462	5,357	5,512	5,538	千円
総経費（a + b）	9,402	9,701	9,905	10,136	千円

(4) 年度ごとの推移 (【主な活動の実績 (※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	・コロナ禍で中止・縮小していた交通安全教室を徐々に通常通り実施するようになったことで経費が上昇した。また、令和5年度は故障した機材を買い替えるなどで費用が発生した。
今後の事業 の方向性	・子どもや高齢者が安全に道路を通行するための知識を得ることができる交通安全教育は、交通事故の発生を抑止し、特に自転車は道交法の改正に対応する必要がある、市民が安心して暮らせる街づくりの視点からも重要であるため、引き続き実施していく必要がある。 ・現在、交通安全教育指導員は3名だが、座学に加え実技指導を行うには人員が不足しており、突発的な欠員が出た場合の教室実施が難しい状況である。また、受講希望する幼稚園等も増えており、要望に応えきれない現状を踏まえると人員拡充が急務である。

令和 6 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	2	項	1	目	12	説明資料	32	項目番号	2(3)
事務事業名	交通安全普及啓発事業								所管部課名	建設部		
										土木計画課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	交通安全対策基本法第4条、第38条						
実施計画	大柱	地域で支え合う福祉のまちの再興				分野別計画	
	中柱	安全・安心のまちづくり					
	小柱						
目標	交通安全運動(年間運動、各季の運動等)のほか各種事業の実施により、運転者や児童、地域の人たちなどへの交通安全思想の普及啓発活動を展開し、交通事故のない市民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。						
目標達成に必要なこと	警察をはじめとする関係機関や関係団体、地域と連携協力しての継続的な交通安全活動の実施。						
具体的な事業内容	(1)年間及び各季交通安全運動 (2)交通安全通学用帽子(新入学児童黄色い帽子)の配布 (3)小中学生交通安全ポスターコンクール (4)交通安全教育グレースポール大会(高齢者が参加するイベント) (5)スクール・ゾーン電柱巻標識の設置						

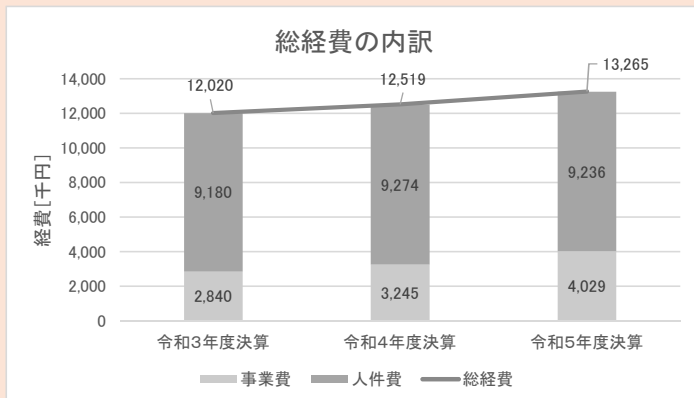
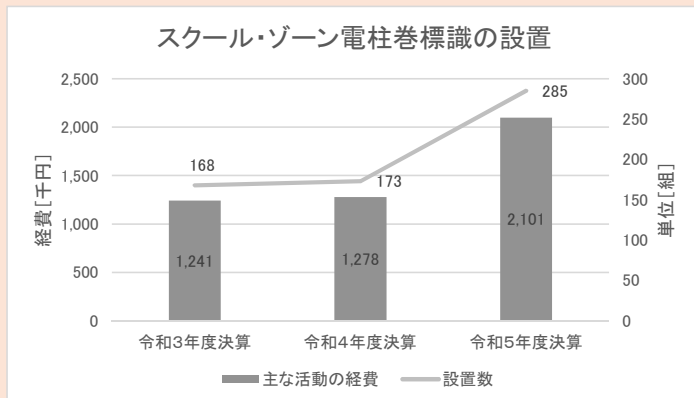
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① スクール・ゾーン電柱巻標識の設置	設置数	168	173	285	組
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 交通安全通学用帽子(新入学児童黄色い帽子)の配布	配布数	2,925	2,817	2,600	個
③ 小中学生交通安全ポスターコンクールの実施	応募数	963	924	941	点

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,840	3,245	4,029	5,393	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	1,241	1,278	2,101	3,076	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	1,599	1,967	1,928	2,317	千円
b 人件費	9,180	9,274	9,236	9,294	千円
正規職員	1.1	1.1	1.1	1.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	12,020	12,519	13,265	14,687	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	事業名(細々目)について、令和4年度以降、「交通安全啓発事業」及び「交通安全環境整備事業」を統合し「交通安全普及啓発事業」とした点。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	・スクール・ゾーン電柱巻標識の設置は市内を8エリアに分けて順次更新している。令和5年度は対象エリアの更新数が多かったため、経費の負担が増えた。		
今後の事業の方向性	・交通事故発生件数は、市内ではいまだ年間約千件もの交通事故が発生している。 ・交通安全は、より安全で安心のできる社会の実現を図るうえでの重要な課題の一つである。関係機関や関係団体、地域との連携協力による交通安全の普及啓発のための取り組みは、子どもや高齢者を事故から守るために不可欠であり、維持継続していく。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	3	説明資料	35	項目番号	2(1)
事務事業名	鳥獣保護管理対策事業								所管部課名	建設部		
										自然環境・河川課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(第9条ほか)						
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画	
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進					
	小柱	①身近な自然環境の保全、創出、活用					
目標	野生鳥獣及び特定外来生物による生活被害や農作物被害、人身被害、生態系被害の防止						
目標達成に必要なこと	継続的かつ効果的な防除の実施や捕獲許可等の手続きの適正な実施						
具体的な事業内容	(1)鳥獣保護管理法に基づく捕獲許可及び飼養登録事務手続きの執行 (2)神奈川県イノシシ管理計画に基づくイノシシ捕獲の実施 (3)特定外来生物法に基づくアライグマやクリハラリス等の防除の実施						

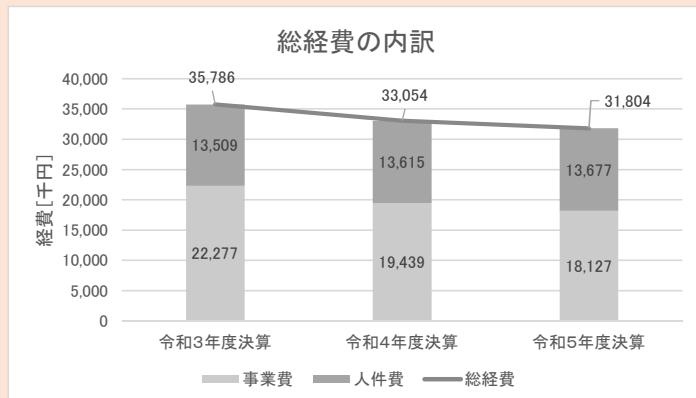
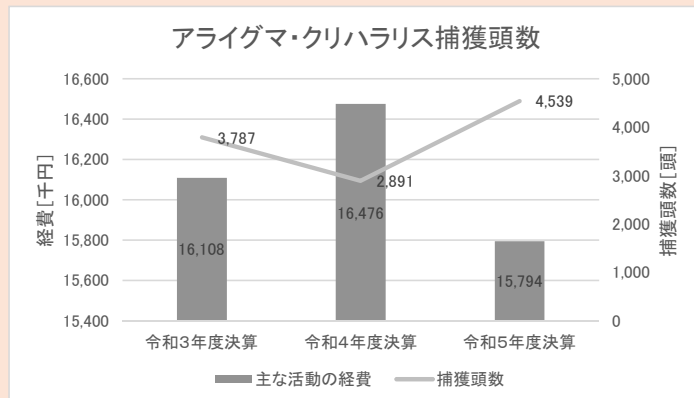
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにに行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 特定外来生物防除業務(アライグマ/クリハラリス)	捕獲頭数	3,787	2,891	4,539	頭
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② イノシシ捕獲業務(※ 市委託分のみ ボランティア等の捕獲は除く)	捕獲頭数	15	11	8	頭
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	22,277	19,439	18,127	22,959	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	16,108	16,476	15,794	18,190	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	6,169	2,963	2,333	4,769	千円
b 人件費	13,509	13,615	13,677	13,542	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	1.0	1.0	1.0	1.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a ＋ b）	35,786	33,054	31,804	36,501	千円

(4) 年度ごとの推移 (【主な活動の実績 (※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	計画防除事業を8.5か月から5.5か月へ短縮 (国庫補助金申請時期の関係上)
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和5年度はイノシシ捕獲業務委託の入札額が当初の予定より安価であった他、捕獲頭数が例年より少なかったことから単価契約分(捕獲時の止めさし)が減額となった。 特定外来生物防除業務は令和5年度より新たに国庫補助金(特定外来生物防除等対策事業交付金)を申請した。例年計画防除事業は7月末までの前期、11月から開始する後期と2期に分け実施をしていたが、国庫補助金の申請時期の関係から前期分の防除を実施することが困難であり、10月からの5.5か月の実施となった。 アライグマ・クリハリリス共に捕獲数が増加している現状がある。継続した防除を行っていくため、「特定外来生物防除等対策事業交付金」のほか「市町村事業推進交付金」や「市町村共同事業助成金」を活用し、事業を執行している。		
今後の事業 の方向性	鳥獣保護法に基づき、県から権限移譲を受けた鳥獣(37種)について、捕獲許可申請書の受付や審査、許可証の交付。返納手続きなどの必要な事務手続きを執行するとともに、有効期間に応じて飼養登録(更新)の申請受付、登録票の交付などの必要な手続きを滞りなく執行する。特定外来生物については、確実な個体数減少と根絶を目指し、被害防除及び計画防除により捕獲圧を緩めることなく継続的かつ計画的な防除に取り組む。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業		会計	一般会計		款	9	項	2	目	1	説明資料	43	項目番号	7
事務事業名	地籍調査事業										所管部課名	建設部		
												土木用地課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	国土調査法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	土地の所有者、地番、地目、境界、地積に関する調査を行い、地籍の明確化を図ることにより、土地境界に関するトラブルの未然防止、土地取引や公共事業の円滑化、土地への課税の適正化、地震や津波被害が発生した際の復旧作業の迅速化等に寄与することを目指す。						
目標達成に必要なこと	・県の施策や、国の方針をふまえて事業計画を策定し、県補助金を確実に取得しつつ事業を推進していく。 ・調査対象の土地所有者等の協力が不可欠なので、事業の必要性や効果について丁寧に説明し、理解を得ていく。						
具体的な事業内容	関係資料の調査や、土地所有者等との現地調査により、各土地の地番、地目、境界を調査し、面積を測量し、それらの結果を地籍簿、地籍図にまとめる。 地籍簿、地籍図は、県の認証、国の承認手続きを得た後に法務局へ送付され、それに基づき不動産登記法に定められている地図が備え付けられる。成果については、その後も一般の閲覧に供しなければならないため、土木用地課内で管理していく。						

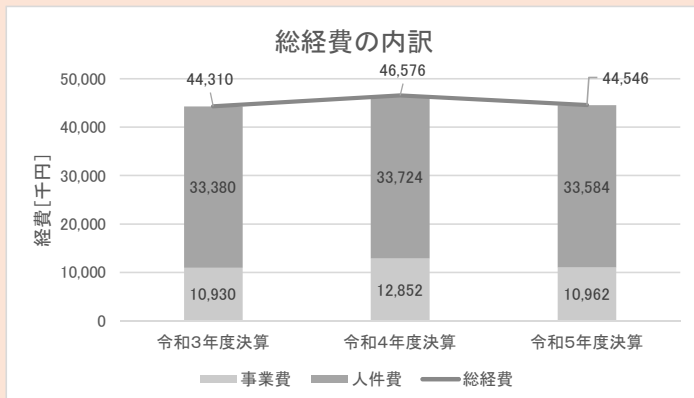
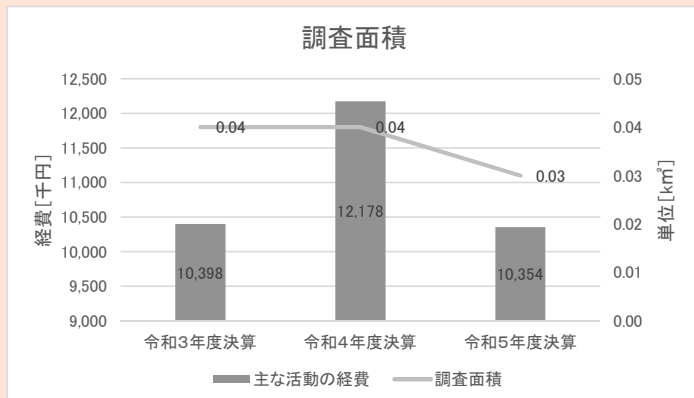
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目 1 つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 測量調査設計委託	調査面積	0.04	0.04	0.03	km ²
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	10,930	12,852	10,962	12,454	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	10,398	12,178	10,354	11,829	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	532	674	608	625	千円
b 人件費	33,380	33,724	33,584	33,796	千円
正規職員	4.0	4.0	4.0	4.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	44,310	46,576	44,546	46,250	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	大きな変更点は特になし。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	令和5年度の調査面積が令和4年度と比べ、0.04km²から0.03km²に減少した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	事業費、特に測量調査設計委託にかかる経費は、人件費や調査手法(通常型か官民境界先行型か)、調査地区面積、地形、筆数(土地の数)などによって増減する。		
今後の事業の方向性	当面は、相模湾沿岸など大規模地震発生時の津波被害想定地区において引き続き事業を推進していく予定。		

令和6年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	2	説明資料	47	項目番号	2(2)
事務事業名	トンネル計画修繕事業								所管部課名	建設部		
										道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法第42条						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	市が管理する49トンネルについて、5年ごとに定期点検を実施し、計画的な維持修繕工事を実施することで長期的なコスト削減を図るとともに平常時及び緊急時の安全な通行を確保する。						
目標達成に必要なこと	定期点検結果をもとに、新技術の検討も含め長寿命化修繕計画を更新することで、国庫補助を取得し確実に事業を実施する。 また、橋りょう計画修繕事業の計画も考慮し、平準的な工事予定を検討する。						
具体的な事業内容	(1)トンネル修繕工事：ひび割れ防止工、覆工コンクリート背面空洞化対策工、剥落防止対策工、漏水対策工 (2)トンネル照明設備修繕工事(老朽化により第三者被害が懸念される場合に実施):照明取付金具更新、灯具更新(LED化)						

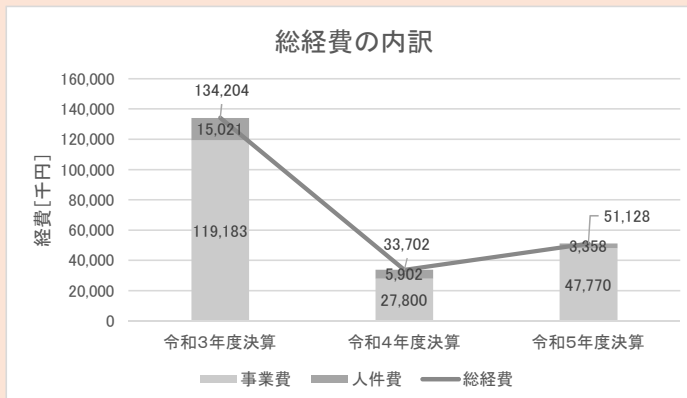
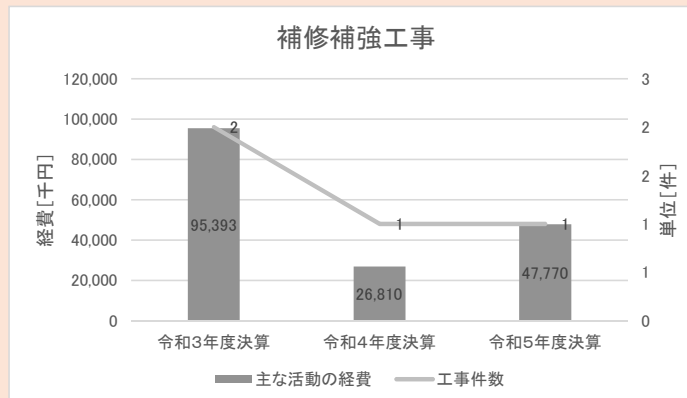
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 補修補強工事の設計施工(一般工事)	工事件数	2	1	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 測量調査設計委託	業務件数	2	1	0	件
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	119,183	27,800	47,770	54,070	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	95,393	26,810	47,770	54,070	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	23,790	990	0	0	千円
b 人件費	15,021	5,902	3,358	5,069	千円
正規職員	1.8	0.7	0.4	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	134,204	33,702	51,128	59,139	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	令和3年度に実施した、中里トンネル詳細設計に基づき、修繕工事を実施。令和2年度に環境部から移管を受け点検の結果健全度Ⅲとなった3トンネルについて詳細設計を実施。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	令和4年度に実施した詳細設計について、1トンネルの修繕工事を実施。また、2巡目の定期点検を実施し、令和6年度に長寿命化修繕計画の改定を予定。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和元年度に作成したトンネル長寿命化修繕計画(令和3年度に移管に伴い改定)に基づき、対象トンネルに対して詳細設計のうえ修繕工事を実施。工事及び設計委託は各年1トンネル程度を実施している。費用の増減はトンネルの規模(延長・断面)、工事内容による。人件費は道路補修課各事業間での人員配分にあたり、年度毎の各事業の事業量にあわせ増減している。		
今後の事業の方向性	市の管理する49トンネルについて5年に1度の定期点検結果をもとに長寿命化修繕計画の更新を行い、予防保全的な修繕を行うことで、効率的な維持管理を実施する。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	2	説明資料	48	項目番号	2(3)
事務事業名	橋りょう計画修繕事業								所管部課名	建設部 道路整備課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法第42条						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	市が管理する365橋について、5年ごとに定期点検を実施し、計画的な維持修繕工事を実施することで長期的なコスト削減を図るとともに平常時及び緊急時の安全な通行を確保する。						
目標達成に必要なこと	定期点検結果をもとに、新技術の検討も含め長寿命化修繕計画を更新することで、国庫補助を取得し確実に事業を実施するとともに、簡易な修繕工事についても計画的に修繕工事を実施する。						
具体的な事業内容	(1)橋りょう修繕工事:断面修復工、ひび割れ対策工、剥落防止対策工、伸縮装置取替工、橋面防水工、地覆補修工、高欄取替工 (2)橋りょう補強工事:縁端拡幅工、横変位制限装置設置工 ※橋りょう架替工(老朽化が著しく、補修工事よりもランニングコストが安くなる場合)及び橋りょう撤去工(集約化により費用の縮減を図る)として実施する場合は事業替えを行う。						

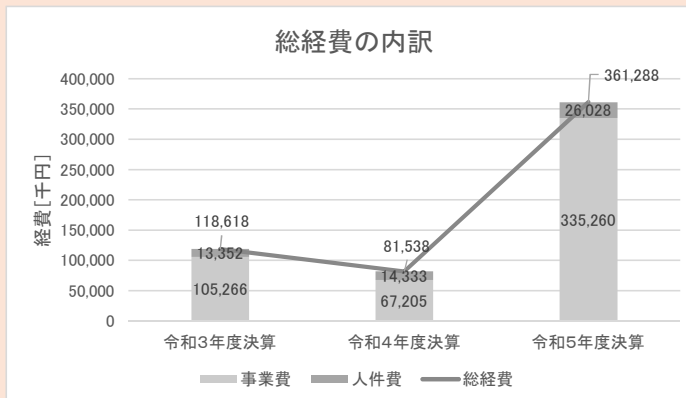
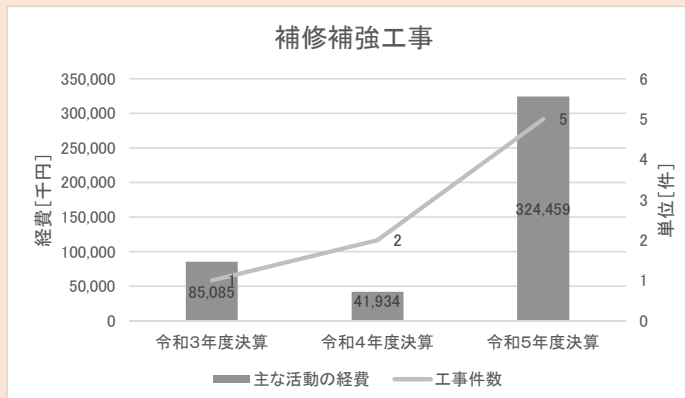
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 補修補強工事の設計施工(一般工事)	工事件数	1	2	5	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 測量調査設計委託	業務件数	3	2	2	件
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	105,266	67,205	335,260	341,062	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	85,085	41,934	324,459	327,062	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	20,181	25,271	10,801	14,000	千円
b 人件費	13,352	14,333	26,028	16,898	千円
正規職員	1.6	1.7	3.1	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	118,618	81,538	361,288	357,960	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	令和3年度は工事として1橋(うち補助1橋)、委託3橋(うち補助3橋)を実施。令和4年度は工事として4橋(うち補助2橋(R5へ繰越))、委託2橋(うち補助2橋)を実施した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	令和4年度は工事として4橋(うち補助2橋(R5へ繰越))、委託2橋(うち補助2橋)を実施した。令和5年度は工事として令和3年度事故繰越1橋(補助)、令和4年度繰越2橋(補助)、令和5年度分2橋、委託として2橋(補助)を実施した。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度は繰越した工事が多く件数は変わらないものの金額が減少した。令和5年度は規模の大きい橋が竣工を迎えたため、工事件数経費共増加している。 事業の金額の増減は橋りょうの規模、及び工事内容により違うため、ある程度平準化できるように調整している。 人件費は道路補修課各事業間での人員配分にあたり、年度毎の各事業の事業量にあわせ増減している。		
今後の事業の方向性	市の管理する365橋について5年に1度の定期点検結果をもとに長寿命化修繕計画の更新を行い、予防保全的な修繕を行うことで、効率的な維持管理を実施する。(令和7年度より3巡目の定期点検)		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	主要道路計画修繕事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法第42条						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	市が管理する重要な61路線約88kmについて、道路の現状を把握したうえで、適時に補修工事を実施することにより、平常時及び災害時の良好な通行と安全性を確保する。						
目標達成に必要なこと	定期点検結果をもとに、新技術の検討も含め舗装管理計画を更新し、工事が必要な区間については、FWD調査(舗装構造調査)により補修方法を確定させ国庫補助を取得する。						
具体的な事業内容	市が管理する重要な61路線約88kmについて、5年に1度の路面性状調査の実施による舗装管理計画の更新。 優先順位の高い区間についてFWD調査を実施し、その結果を基に国庫補助を取得したうえで舗装補修工事を実施。						

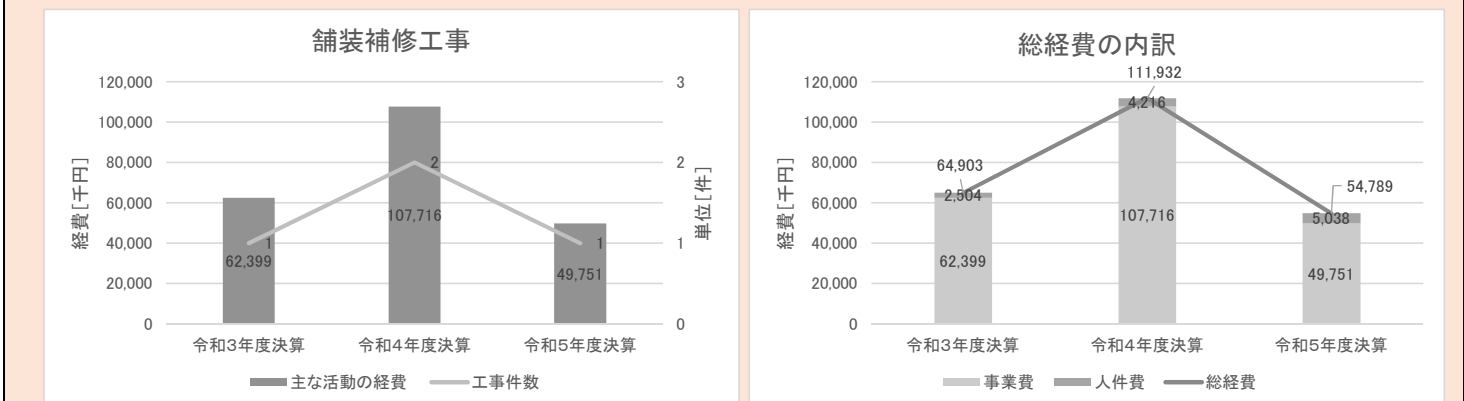
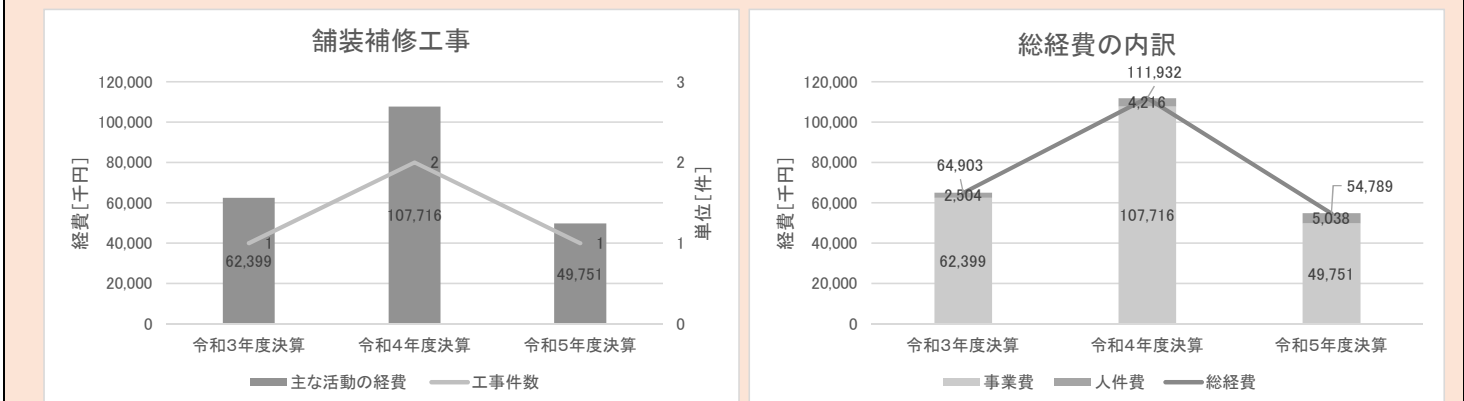
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 舗装補修工事の実施	工事件数	1	2	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	62,399	107,716	49,751	52,062	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	62,399	107,716	49,751	52,062	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	0	0	0	0	千円
b 人件費	2,504	4,216	5,038	8,449	千円
正規職員	0.3	0.5	0.6	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	64,903	111,932	54,789	60,511	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	令和4年度は、令和3年度に前倒しで申請した国庫補助補正が要望額通り60,000千円認証され、令和4年度国庫補助も内示減があったものの22,847千円承認されたことにより2路線の工事を実施。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	令和5年度は、令和4年度に前倒しで申請した補正及び令和5年度国庫補助の内示率が低いため、最終年度の市道7227号を優先し実施。市道佐島港線を先送りした。
---	---	---	---

年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	本事業の国庫補助は、重点事業とされていないため、内示率が低い(全体で30～40%程度)ため、規模を縮小し実施している。令和5年度は国の追加補正を活用したが、2路線分の予算額を確保できず1路線を先送りした。 また、人件費は人員配分にあたり、年度毎の各事業の事業量にあわせ増減している。 工事件数(延長): 令和3年度1件(334m)、令和4年度2件(604m)、令和5年度1件(201m)
--	--

今後の事業 の方向性	市が管理する重要な61路線約88kmについて、良好な状態に保ち平常時及び災害時の安全性を確保するため、永続的に事業の継続が必要である。
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
------	------	------	-----	-------	----	---------	----

分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務
----	--

	大柱	経済・産業の再興		
--	----	----------	--	--

已通	项目通：1. 以具有城市综合功能为主；2. 通体采用全玻璃幕墙
----	---------------------------------

[illegible][illegible]

(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
----------------------------------	---------	-------	-------	-------	----

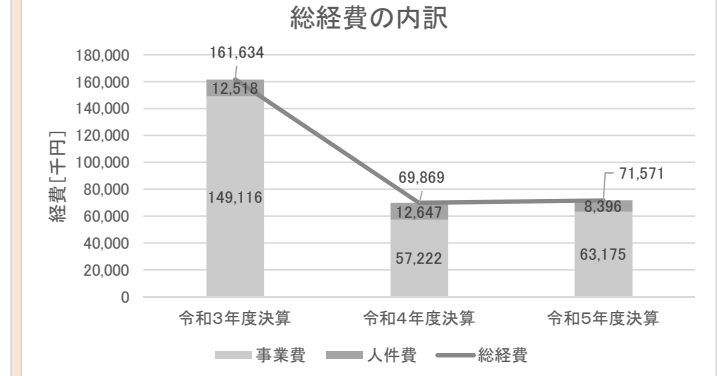
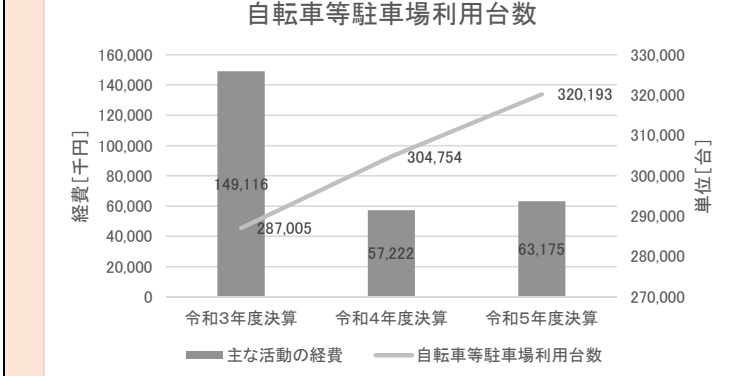
① 自転車等駐車場運営業務	自転車等駐車場利用台数	287,005	304,754	320,193	台
---------------	-------------	---------	---------	---------	---

その他の活動実績	活動（指標）名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
④ 自転車等駐車場運営業務	利用割合	170.100	175.700	170.005	千円

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
-----	-----------	-----------	-----------	-----------	----

a 事業費（予算現額・支出済額）	149,116	57,222	63,175	162,657	千円
------------------	---------	--------	--------	---------	----

主な活動の経費（※上記(2)①)	149,116	57,222	63,175	162,657	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費)	0	0	0	0	千円



【令和4年度】

（【主な活動実績】と
【総経費の内訳】の増
減理由等）

浦賀駅第2自転車等駐車場屋上防水改修工事といったやや大規模な修繕を実施したが、利用料の減収分の補填は行われなかったため、令和3年度と比較し決算が大幅に減額となっている。

【令和5年度】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、徐々に利用者が戻りつつある。追浜駅第2自転車等駐車場において、外壁等の大規模な修繕を実施したため、令和4年度と比較し、決算が増額となっている。

今後の事業 の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度及び令和3年度は、利用者が大幅に減少し、令和4年度以降、利用台数は増加傾向にあるものの、令和5年度も利用料金収入が自転車等駐車場指定管理業務基本協定書で定めた管理経費にまで満たなかった。今後についても、人口減少などによる自然減に加え、テレワークの普及などによる生活様式の変化の影響により、利用者の減少が見込まれるため、引き続き、指定管理者の人員削減や施設の機械化など管理運営方法を見直す予定である。
---------------	--

令和6年度 事務事業等の総点検

事務事業名	若松日の出線道路改良事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和5年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画		
	中柱	都市基盤の整備						
	小柱							
目標	・官公庁や小中学校へのアクセス機能の強化と利便性の向上 ・安全な歩行空間の確保							
目標達成に必要なこと	・道路事業用地の取得 ・道路改良工事の実施							
具体的な事業内容	道路整備の実施 【計画】延長L＝220m、幅員W＝12m(車道3.5m×2、歩道2.5m×2)							

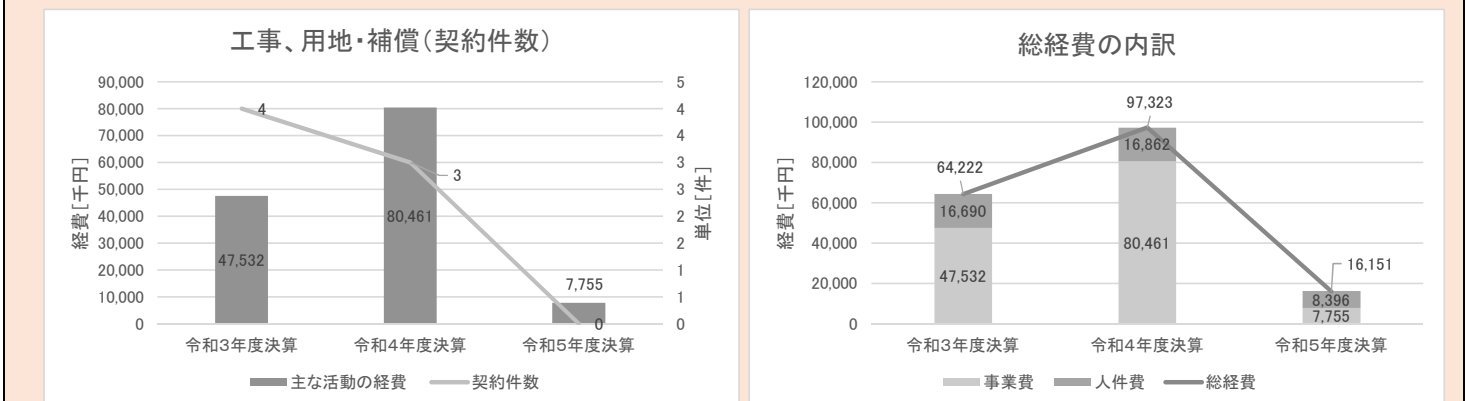
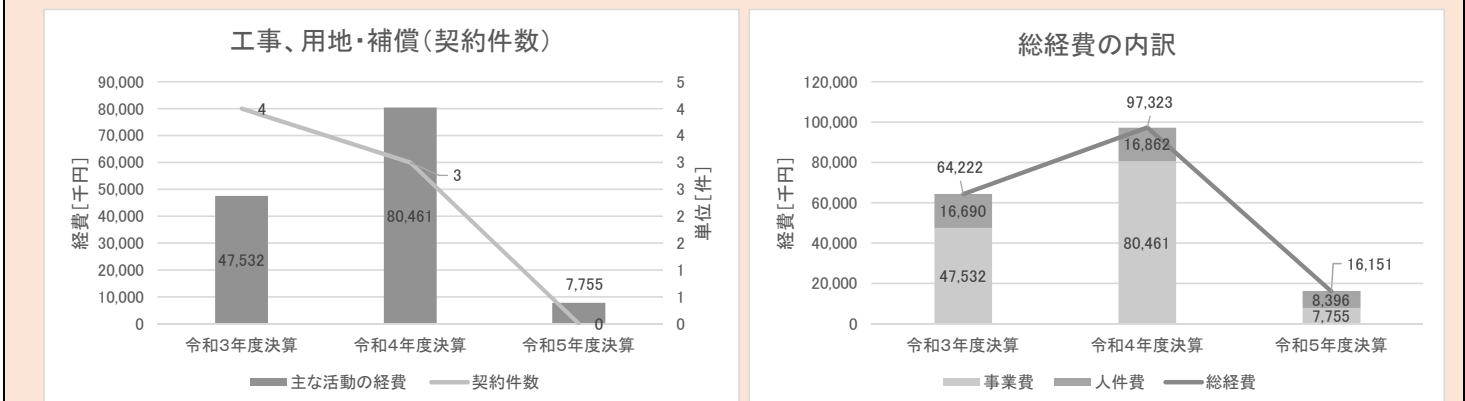
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 工事、用地・補償	契約件数	4	3	0	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 若松日の出線の交通安全対策について話し合う会	開催数	2	3	1	回
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	47,532	80,461	7,755	8,301	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	47,532	80,461	7,755	8,301	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	16,690	16,862	8,396	16,898	千円
正規職員	2.0	2.0	1.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	64,222	97,323	16,151	25,199	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和元年： 用地交渉等、事業調整 令和2年度： 建物等補償、用地取得及び取得箇所の防塵舗装工事を実施 令和3年度： 工作物補償、用地取得及び代替地の交渉、勤労福祉会館設備移設工事 令和4年度： 工作物補償、歩車道整備工事、工事に伴う測量業務 令和5年度： 国道歩車道整備工事、道路台帳修正測量業務、勤労福祉会館分筆登記業務
---	---

今後の事業 の方向性	道路改良工事後、国道管理者との境界確認及び台帳修正と勤労福祉会館の分筆登記を実施し、令和5年度の事業完了、供用開始。 【実績】 事業用地取得率100%、工事進捗率100% 【残事業】なし
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	スマートインターチェンジ整備事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	道路法、高速道路機構法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱	⑤西地区の活性化					
目標	スマートインターチェンジ整備により、本市西地域住民の横浜横須賀道路へのアクセス向上や、観光振興への寄与、水産業の輸送支援、救命救急サービスの向上、防災機能の向上を目指す						
目標達成に必要なこと	・地区協議会の開催(事業内容の変更、工事の開始報告、開通後のフォローアップ等)と地区協議会会員の承認						
具体的な事業内容	・横須賀パーキングエリア付近に上り線オンランプ及び下り線オンランプを整備する。 ・実施にあたっては、東日本高速道路㈱と協定書を締結し、測量・設計・工事を行う。						

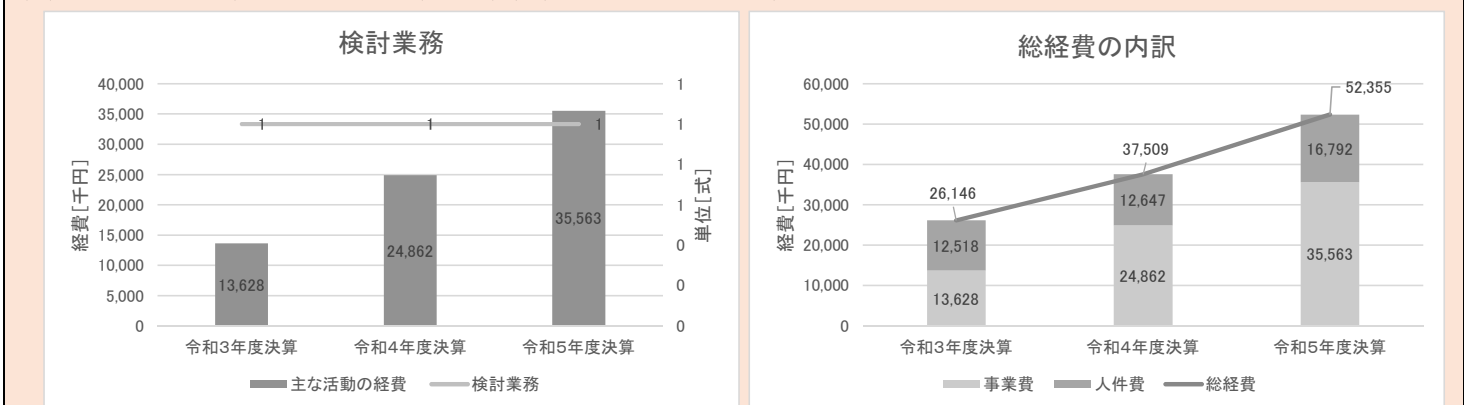
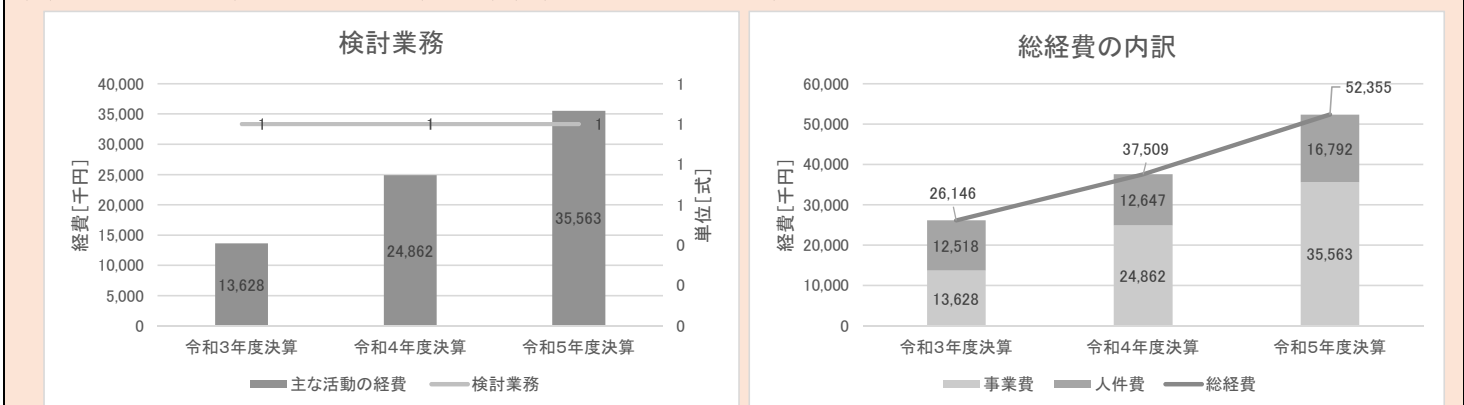
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目 1 つ)	活動（指標）名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	単位
① 検討業務	検討業務	1	1	1	式
その他の活動実績	活動（指標）名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	13,628	24,862	35,563	35,563	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	13,628	24,862	35,563	35,563	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	12,518	12,647	16,792	16,898	千円
正規職員	1.5	1.5	2.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	26,146	37,509	52,355	52,461	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	検討業務に伴う関係者協議 現況測量・地質調査	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	地盤対策の追加検討 検討業務に伴う関係者協議
---	-----------------------------------	---	-----------------------------------

年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	R4に実施した現況測量・地質調査の結果を反映し、地盤対策の追加検討を実施
---	--------------------------------------

今後の事業 の方向性	国・県・NEXCO及び県警との協議を行って事業を進める。
---------------	------------------------------

令和6年度 事務事業等の総点検

事務事業名	上町坂本線道路改良事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和10年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画		
	中柱	都市基盤の整備						
	小柱							
目標	本路線は、道路幅員は約5.5mの相互通行の車道で、歩行者用路側帯の幅が約1.2mと大変狭く、車両がすれ違う際には歩行者用路側帯内に車が侵入し、危険な状況である。そこで、歩行者の安全対策とうわまち病院の移転に合わせた跡地利用を進めるために拡幅して歩車道の整備を行う。							
目標達成に必要なこと	・道路事業用地の取得 ・道路改良工事の実施							
具体的な事業内容	道路整備の実施 【現在の計画案】 延長L=150m 幅員W=15m(車道:3.5m×2、歩道:4.0m×2)							

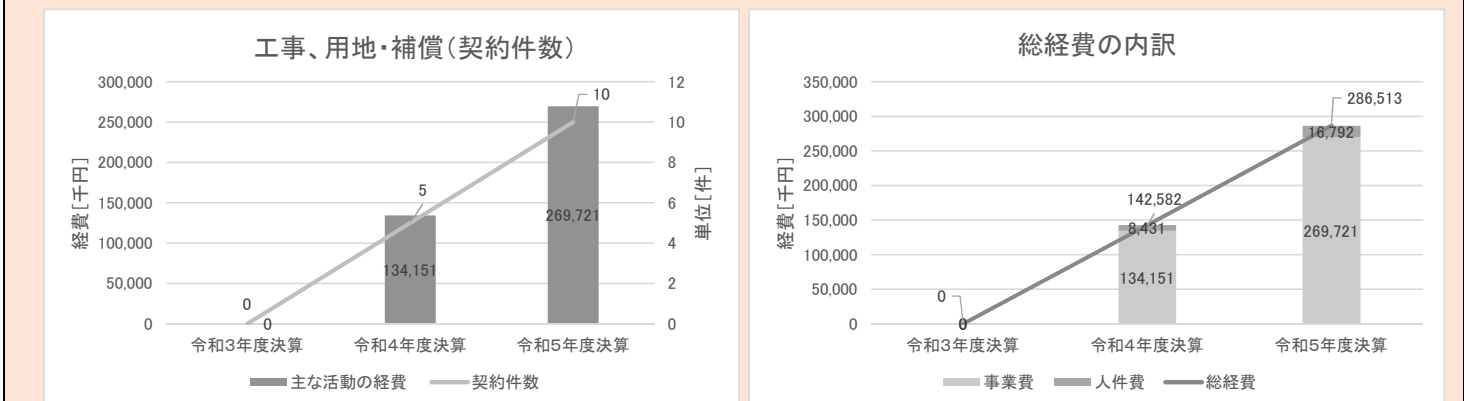
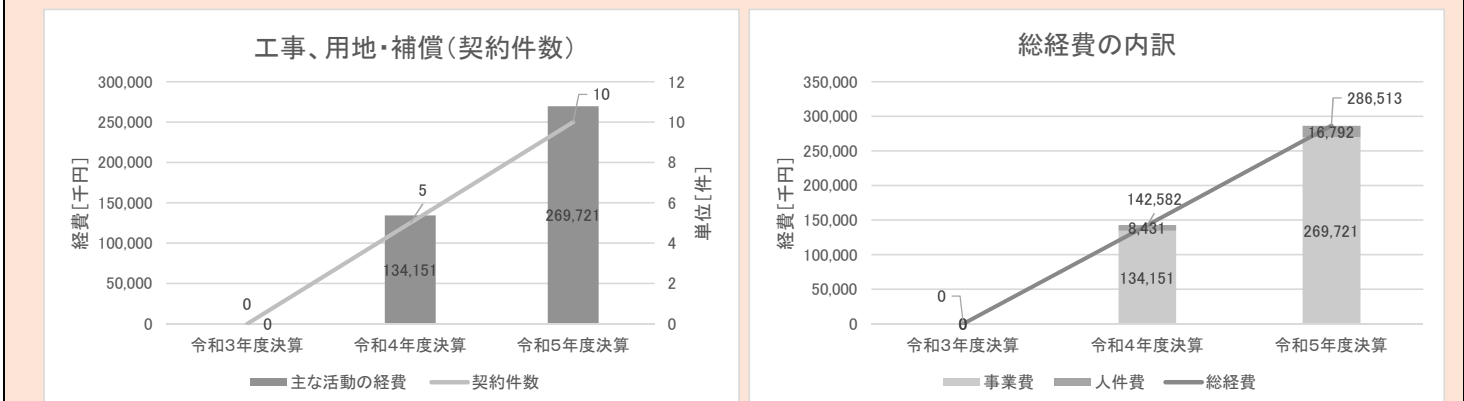
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 工事、用地・補償	契約件数	0	5	10	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② うわまち整備ニュース配布	作成件数	3	2	3	件
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	134,151	269,721	281,134	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	0	134,151	269,721	281,134	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	0	8,431	16,792	12,674	千円
正規職員	0.0	1.0	2.0	1.5	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	0	142,582	286,513	293,808	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	街路事業から道路事業に変更	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	用地取得区域の決定
--------------------------------------	---------------	--------------------------------------	-----------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和4年度： 用地取得2件、補償3件 令和5年度： 用地取得4件、補償3件、防塵舗装工事3件
---	---

今後の事業 の方向性	道路事業用地取得後、道路改良工事を実施し、令和10年度の事業完了を目指す。 【実績】 事業用地取得率35%、工事進捗率0%、事業全体進捗率24% 【残事業】 用地取得8件、補償18件、歩車道整備工事150m、工事に伴う測量
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	セーフティロード事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	交通安全施設を維持・整備することにより、住環境の改善と交通事故の防止を目的とする。						
目標達成に必要なこと	交通安全施設の「設置基準」や「設置できない事例」など、わかりやすい情報提供及び周知の徹底 整備箇所における関係土地所有者等の同意						
具体的な事業内容	交通安全施設の新設及び更新による安全対策の実施 ・道路照明灯、道路反射鏡、車止め、防護柵、道路区画線等						

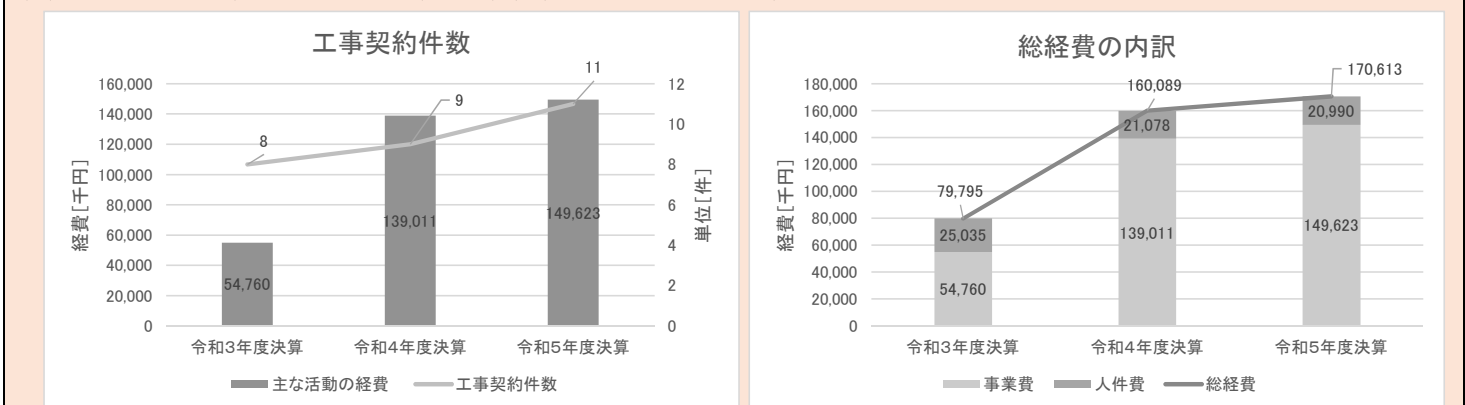
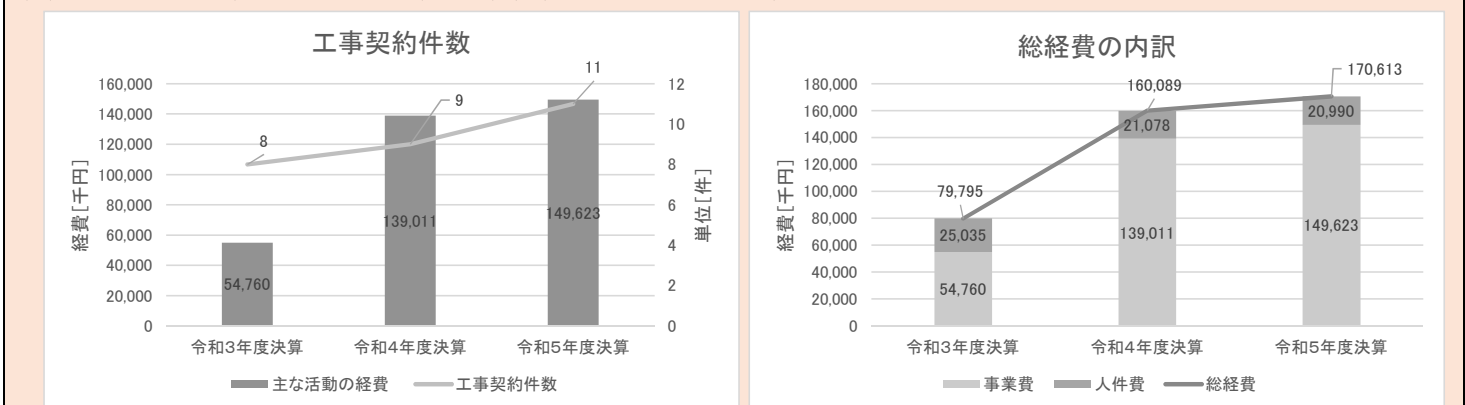
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにに行った 重要な項目 1 つ)	活動（指標）名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	単位
① 工事実施件数	工事契約件数	8	9	11	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	54,760	139,011	149,623	149,780	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	54,760	139,011	149,623	149,780	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	25,035	21,078	20,990	21,123	千円
正規職員	3.0	2.5	2.5	2.5	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	79,795	160,089	170,613	170,903	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和2年:道路照明灯 45基、道路反射鏡 47基、車止め7基、防護柵 938m、道路区画線 1式、道路照明灯共架に伴う負担金 6基 令和3年:道路反射鏡 21基、防護柵 569m、道路区画線 1式 令和4年:道路照明灯 28基、道路反射鏡 20基、防護柵 1,293m、道路区画線 1式 令和5年:道路照明灯 23基、道路反射鏡 34基、防護柵 587.5m、道路区画線 1式
---	---

今後の事業 の方向性	・事故発生件数などの定量的データから市全体の交通安全施設の更新計画をたて、計画的に更新していく。 ・新設についての要望は、内容を精査し、計画に反映させる。
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	久里浜西口栄通り歩車道整備事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和5年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画		
	中柱	都市基盤の整備						
	小柱							
目標	- 歩行者安全対策を施し、交通事故発生を防ぐ。 - 歩道を新設・拡幅し、歩行者増加に対応できる道路とする。							
目標達成に必要なこと	- 交通管理者、久里浜地域運営協議会との合意形成。 - 歩車道整備工事の実施。							
具体的な事業内容	歩車道の整備							

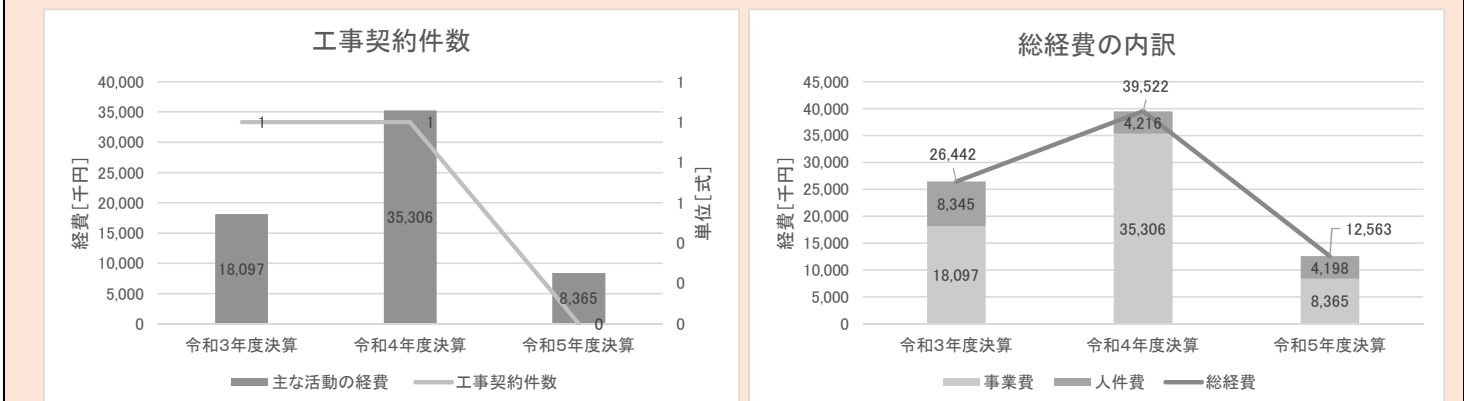
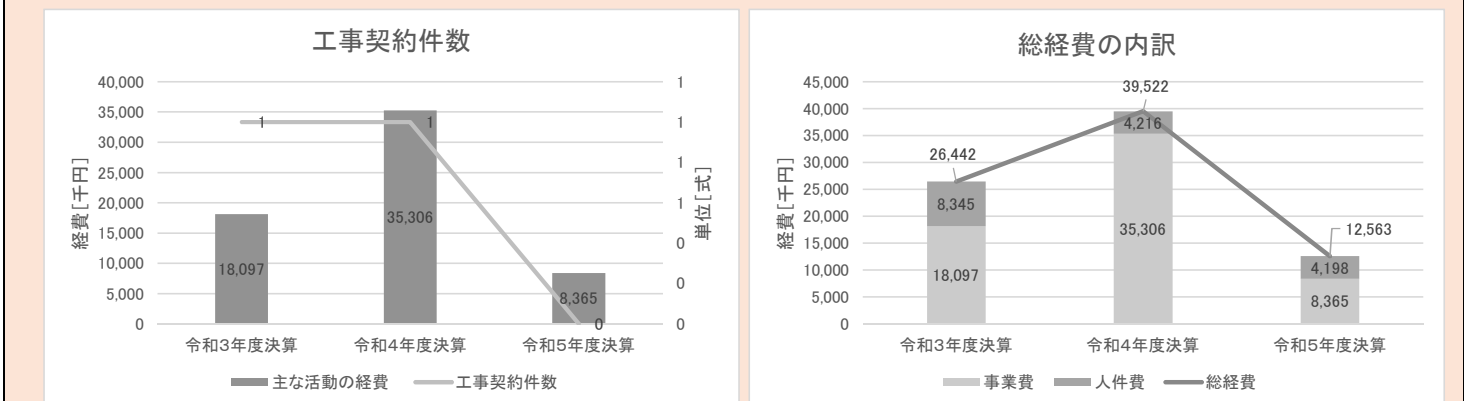
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 整備工事	工事契約件数	1	1	0	式
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	0	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	18,097	35,306	8,365	9,400	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	18,097	35,306	8,365	9,400	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	8,345	4,216	4,198	4,225	千円
正規職員	1.0	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	26,442	39,522	12,563	13,625	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	占用者工事に時間を要したため、歩車道整備工事を令和5年度に繰り越した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増減理由等)	平成30年:測量業務 令和1年:地質調査 令和2年:詳細設計 令和3年:関係機関調整、歩道改良工事を3/25に前倒し発注 令和4年:歩道改良工事 令和5年:歩行者安全対策、舗装本復旧		
今後の事業 の方向性	令和5年度:事業完了		

令和6年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	2	目	4	説明資料	63	項目番号	1
--------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	---

事務事業名	歩行者安全対策事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	道路法						
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱						
目標	通学路危険箇所や事故多発区間の交通安全施設整備による市民や児童の交通安全の確保						
目標達成に必要なこと	通学路合同点検及び交通問題対策部会における対策箇所の合意						
具体的な事業内容	歩行者安全対策 ・カラー舗装、路面標示等 ・交差点のコンパクト化 ・歩車道整備						

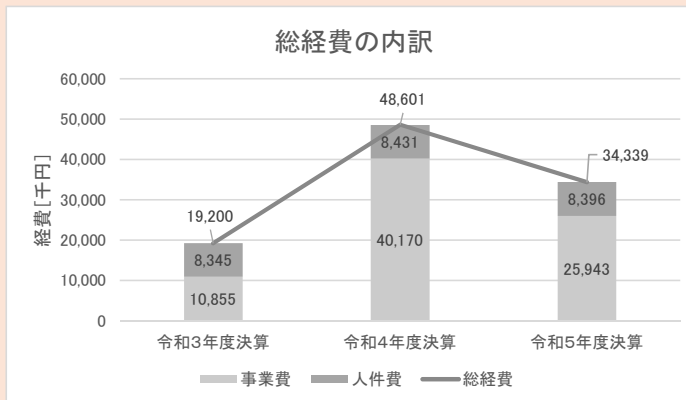
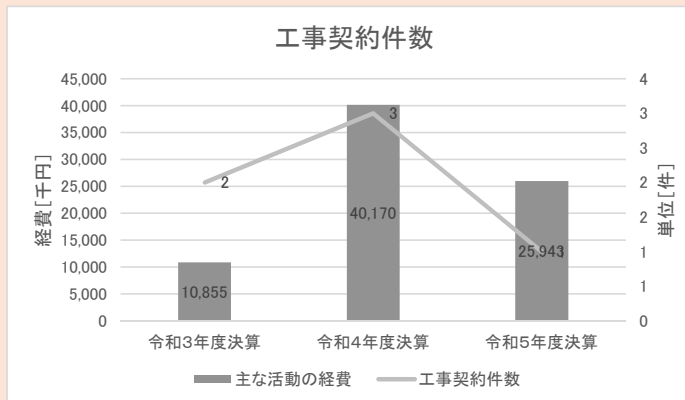
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 工事実施件数	工事契約件数	2	3	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	10,855	40,170	25,943	27,663	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	10,855	40,170	25,943	27,663	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	8,345	8,431	8,396	8,449	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	19,200	48,601	34,339	36,112	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	・交差点、路側帯カラー化 6学区7路線→8学区9路線、交差点改良	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	・横断歩道強調化、車止め 8学区9路線、交差点改良→5学区5路線、交差点改良
---	---	---	---

年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和1年:8学区12路線 令和2年:1学区3路線 令和3年:6学区7路線 令和4年:8学区9路線、交差点改良 令和5年:5学区5路線、交差点改良
--	---

今後の事業 の方向性	道路管理者、教育委員会、警察が連携して実施している通学路合同点検を引き続き実施し、安全確保に資する取り組みを行う。 神奈川県交通安全対策協議会交通施設部会にて、前年度に事故が発生した区間(地点)での対応策を決定し、対策を講じる。
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	よこすか海岸通りリニューアル事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和10年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法							
実施計画	大柱	歴史や文化・スポーツを生かしたにぎわいの再興				分野別計画		
	中柱	音楽やダンス・エンターテインメントによるにぎわいの創出						
	小柱	③うみかぜ公園周辺のにぎわいづくり						
目標	よこすか海岸通りをより一層「市民に愛され、市民が誇れる道」にリニューアルする。まずは、1期区間から楽しく快適に歩きたくなる歩行者空間を整備し、地域のにぎわいを創出するための基盤を構築する。							
目標達成に必要なこと	・歩行者利便増進道路の指定 ・利便増進誘導区域の指定 ・公安委員会の意見聴取 ・歩道改良工事							
具体的な事業内容	歩行者利便増進道路の整備【計画】延長L=900m 幅員W=14m ・歩行者、自転車動線の確保 ・鬱蒼とした緑道廃止と維持管理費削減 ・歩行者利便増進に係る施設整備 ・道路移動等円滑化基準の遵守(バリアフリー化)							

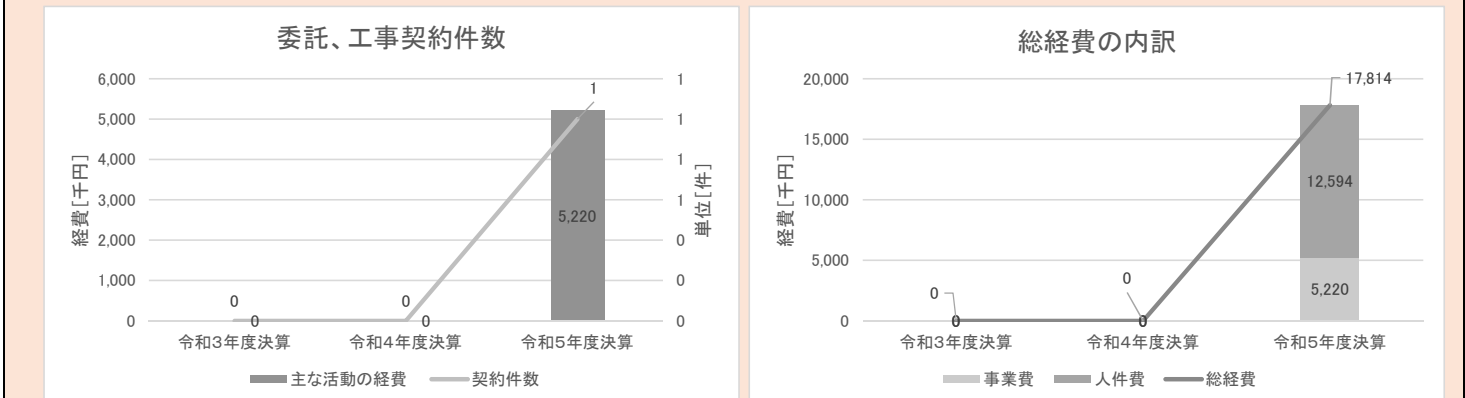
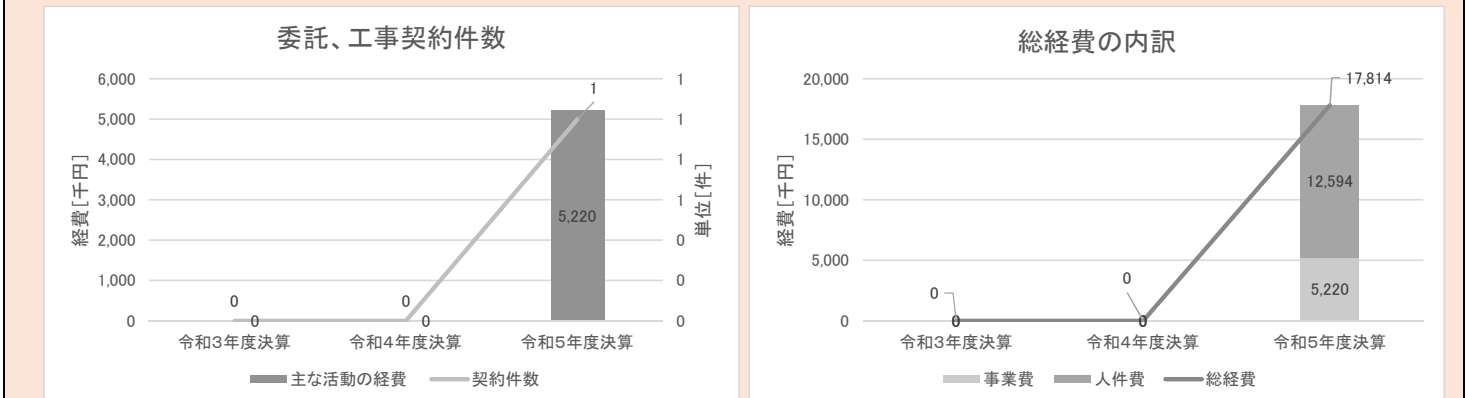
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 委託業務、工事	契約件数			1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 関係部署会議(事業全体)	会議回数			5	回
③ 公安委員会等協議、利便増進道路等指定	指定、協議等件数			3	件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	5,220	5,220	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）			5,220	5,220	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	0	0	12,594	8,449	千円
正規職員			1.5	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	0	0	17,814	13,669	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和5年度：詳細設計1件、関係部署会議5回（整備方針等）、公安委員会等協議2回、利便増進道路指定
今後の事業 の方向性	歩道改良工事を実施し、ホームズ脇360mの1期区間を先行整備し、令和7年度の完了を目指す。2期区間は1期区間の状況を確認してから再スタートする。 【実績】工事進捗率0%（1期区間） 【残事業】歩道整備工事、工事に伴う測量、2期事業の検討

令和6年度 事務事業等の総点検

事務事業名	市内環状線街路改良事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和10年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令	道路法、都市計画法							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画		
	中柱	都市基盤の整備						
	小柱							
目標	通学路交通安全プログラムに基づく点検結果を踏まえて公表された危険個所の安全対策(両側歩道設置及び交差点改良)を行うことで、通学路の安全確保を目指す。							
目標達成に必要なこと	・道路事業用地の取得 ・道路改良工事の実施							
具体的な事業内容	街路整備の実施 【計画】 延長L=190m 幅員W=18m							

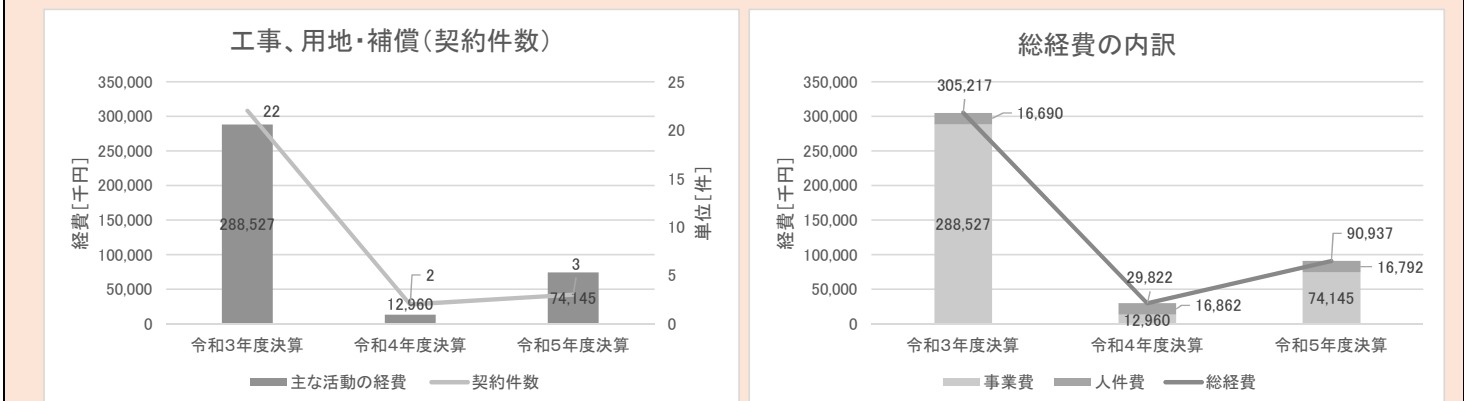
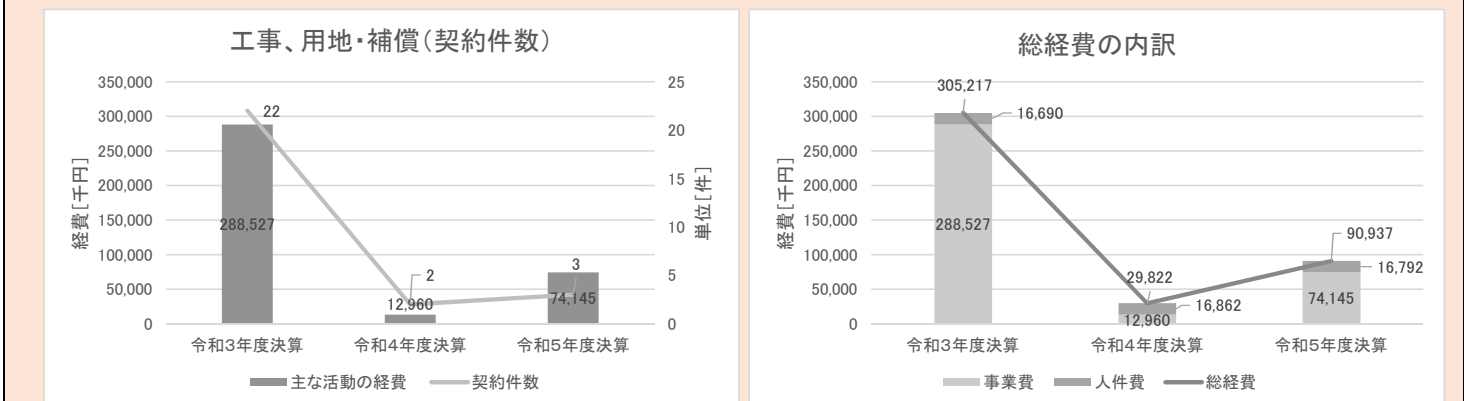
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 工事、用地・補償	契約件数	22	2	3	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	288,527	12,960	74,145	99,326	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	288,527	12,960	74,145	99,326	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	16,690	16,862	16,792	16,898	千円
正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	305,217	29,822	90,937	116,224	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和元年度： 防塵舗装工事2件、用地取得9件、補償8件 令和2年度： 防塵舗装工事2件、用地取得5件、補償7件 令和3年度： 防塵舗装工事2件、用地取得9件、補償11件 令和4年度： 支障物除去工事、付帯工事 計2件 令和5年度： 街路改良舗装工事1件、用地取得1件、補償1件、事業認可の更新
---	--

今後の事業 の方向性	道路事業用地取得後、道路改良工事を実施し、令和10年度の事業完了を目指す。 【実績】 事業用地取得率100%、工事進捗率18%(67m)、事業全体進捗率83% 【残事業】 歩車道整備工事313m/190m×2、確定測量
---------------	--

令和 6 年度 事務事業等の総点検

実施計画事業	会計	一般会計	款	9	項	5	目	2	説明資料	71	項目番号	1
--------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	----	------	---

事務事業名	追浜夏島線整備事業	所管部課名	建設部
			道路整備課

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	経済・産業の再興				分野別計画	
	中柱	都市基盤の整備					
	小柱	①追浜駅周辺のまちづくり					
目標	国道357号の延伸に伴い、国道357号と国道16号を結ぶ市道追浜夏島線の交通量は増加すると予想され、交通量に見合った拡幅整備を行うとともに、追浜駅前付近の円滑な流れや安全確保に向けた、デッキ整備も併せて、国道357号完成までに追浜夏島線を整備する。						
目標達成に必要なこと	道路拡幅計画を立案し、計画案に基づき警察協議、地元周知を並行して行い、18mの都市計画道路幅を拡幅する都市計画変更手続きを実施する。また、事業認可を得たのちに用地・補償交渉を行い、整備工事を進める。						
具体的な事業内容	追浜夏島線拡幅整備及び追浜夏島線歩行者デッキの設計、工事						

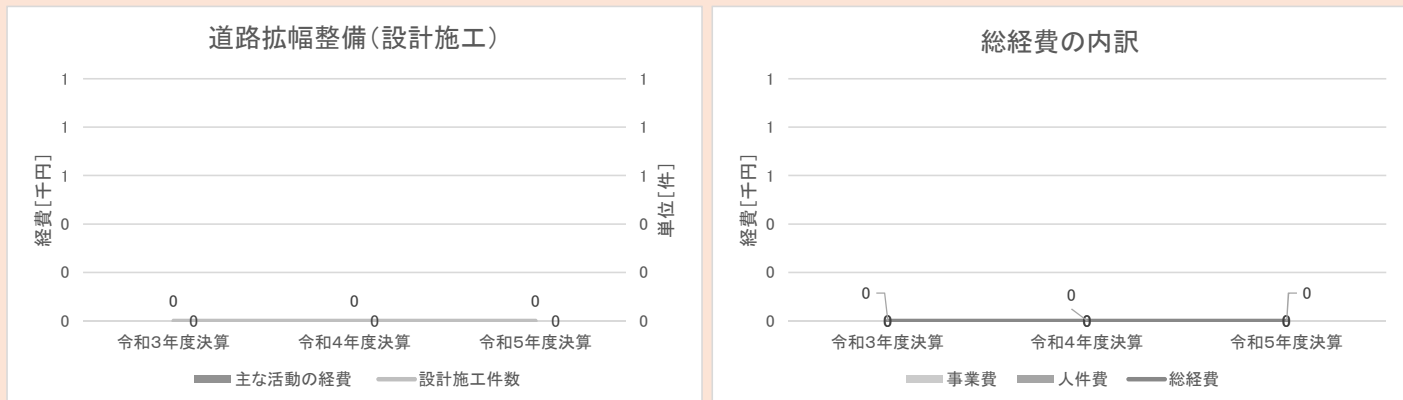
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 道路拡幅整備(設計施工)	設計施工件数			0	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② ペDESTリアンデッキ整備(設計施工)	設計施工件数			0	件
③ 用地補償	用地補償件数			0	件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	0	0	0	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）					千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	0	0	0	0	千円
					人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	0	0	0	0	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	具体的な活動なし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	令和5年度に追浜駅前再開発組合設立。設立により、再開発事業である追浜夏島線縦断部ベデストリアンデッキ整備の詳細設計を負担金で委託。
---	-----------------	---	--

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	当初設計では追浜夏島線縦断部ペDESTリアンデッキ及び横断部ペDESTリアンデッキ整備の詳細設計を発注予定だったが、国庫補助認証減により、横断部ペDESTリアンデッキ詳細設計を次年度以降に先送りした。また、追浜夏島線縦断部ペDESTリアンデッキは詳細設計において、道路占用者や調査に時間を要したため、令和6年度に繰越を行っている。
今後の事業 の方向性	引き続き、追浜夏島線横断及び国道16号横断のペDESTリアンデッキ詳細設計を実施するとともに、地元及び関係各方面と調整を取りながら整備工事を実施する。また追浜夏島線の都市計画変更を進め、事業認可を得たのちに拡幅整備を進める。

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	市街化区域樹林地保全支援事業	所管部課名	建設部
			自然環境・河川課

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進					
	小柱	①身近な自然環境の保全、創出、活用					
目標	本市のみどりを市民の貴重な財産として保全していくため、保全契約者に対し樹林地保全支援金を交付することで樹林地の減少を防ぐ。						
目標達成に必要なこと	保全支援金を交付するための、保全契約者や保全契約地等の調査。						
具体的な事業内容	市街化区域内における樹林地の保全支援制度要綱に基づく保全契約者に対し保全支援金を交付する。 ・契約期間は5年間 ・保全支援金(円)＝(固定資産税＋都市計画税)×3＋契約面積(㎡)×2						

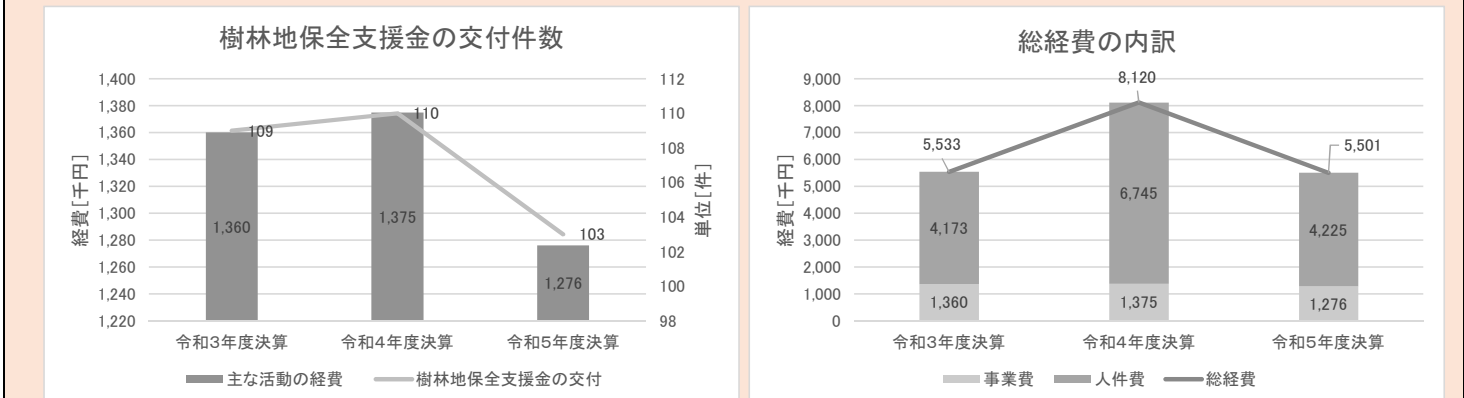
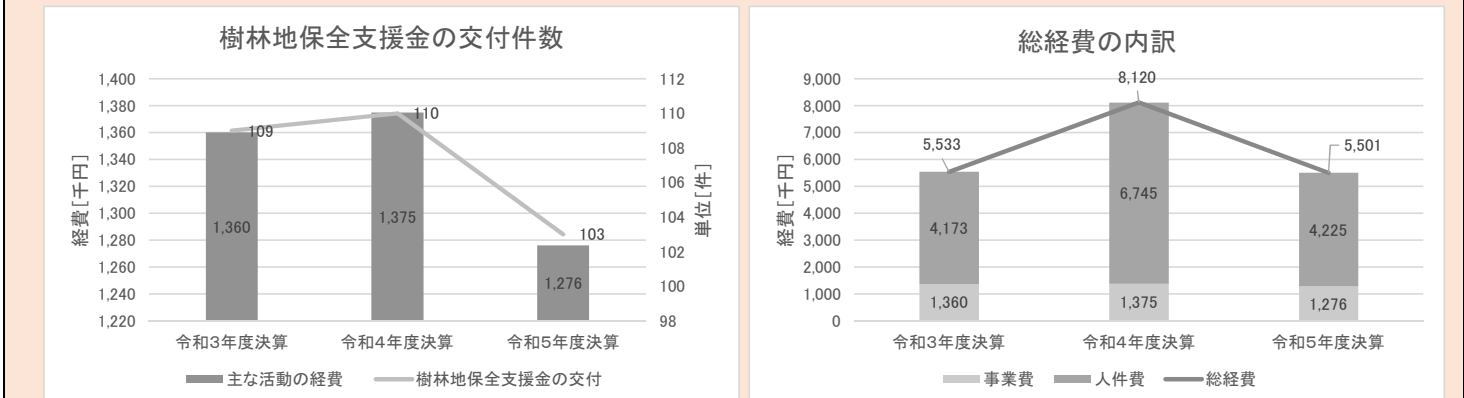
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 樹林地保全支援金	樹林地保全支援金の交付	109	110	103	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,360	1,375	1,276	1,527	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	1,360	1,375	1,276	1,527	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	4,173	6,745	4,225	4,074	千円
正規職員	0.5	0.8	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.8	0.8	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	5,533	8,120	5,501	5,601	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	契約解除者や交付要件を満たしていない契約者には、保全支援金を交付しないため、年度により事業費の増減がある。
---	--

今後の事業 の方向性	現在の制度では、草刈り程度の支援金の支給となっており、樹林地の維持管理費用の補助までできていない状況である。 よって、樹林地の適切な維持管理を行い、健全な樹林地を保全するためには、維持管理費用の補助制度等の検討が必要である。
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	都市緑地保全事業	所管部課名	建設部
			自然環境・河川課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法						
実施計画	大柱	目指すまちづくりの実現に向けた行政運営の方向性				分野別計画	
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進					
	小柱	①身近な自然環境の保全、創出、活用					
目標	本事業に基づく買入れは、市の義務となっているため、近郊緑地特別保全地区内の民有地が、すべて公有地になることが最終目標である。						
目標達成に必要なこと	財源の確保を確実にし、計画的に実施していく。						
具体的な事業内容	特に良好な緑地を保全するため、近郊緑地特別保全地区が武山と衣笠・大楠山の2地区に約244ha指定されており、当該地区内での土地の形質の変更や木竹の伐採は原則認められないため、土地利用行為に係る許認可等事務(不許可処分)による法的救済措置として、土地の買入れを行っている。						

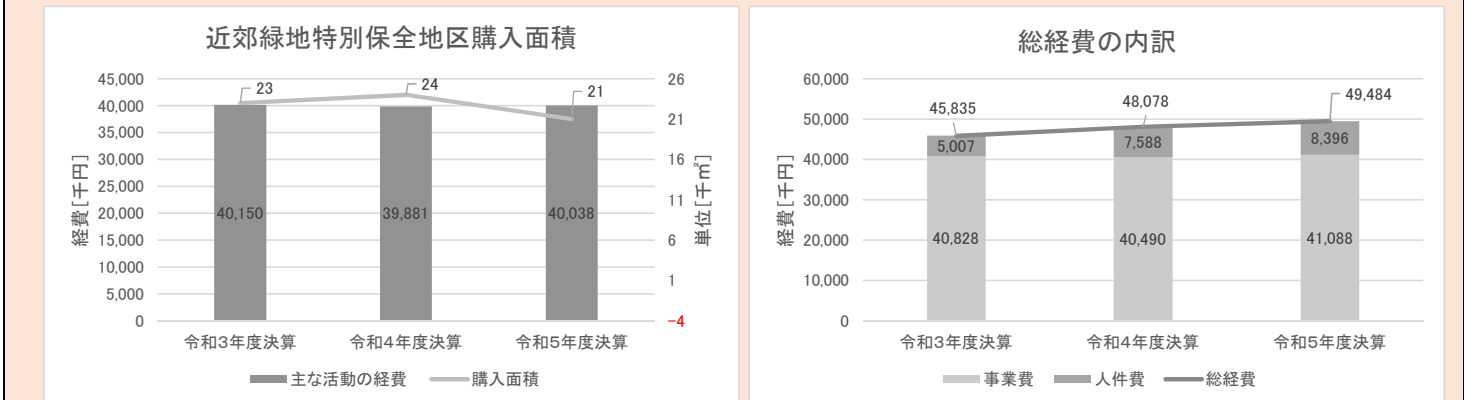
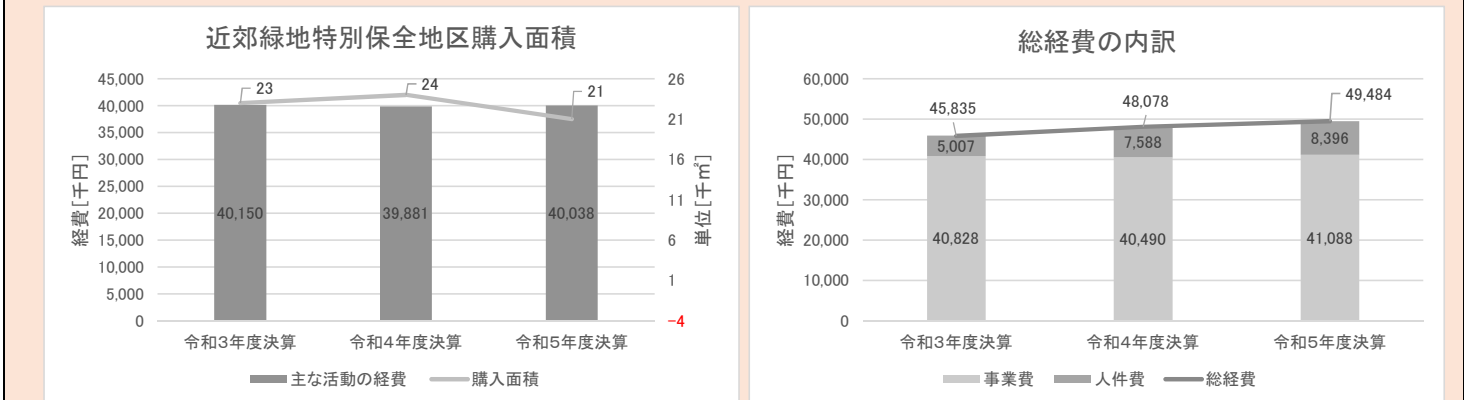
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 土地の買入れ	購入面積	23	24	21	千㎡
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	40,828	40,490	41,088	15,969	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	40,150	39,881	40,038	14,919	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	678	609	1,050	1,050	千円
b 人件費	5,007	7,588	8,396	8,449	千円
正規職員	0.6	0.9	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	45,835	48,078	49,484	24,418	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	多数の買入れ申し出があることから、早急な対応が必要であるが、市の財政状況を考慮し計画的に進める必要がある。		
今後の事業 の方向性	本事業における土地の買入れは都市緑地法に基づくものであり、市の義務となっているため維持継続せざるを得ない。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

(1) 事務事業の概要

実施分類	その他	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	-----	------	----	-------	----	---------	----

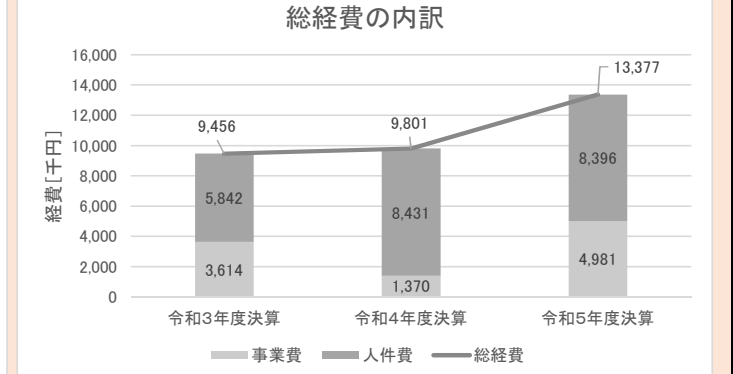
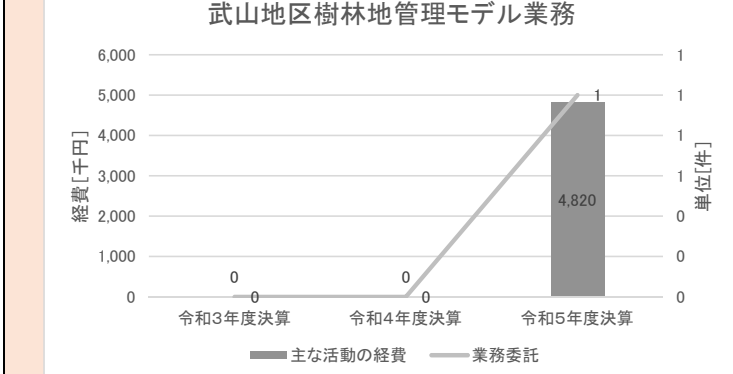
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務			
根拠法令				
実施計画	大柱	未来につなぐ環境の保全・創出	分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進		
	小柱	①身近な自然環境の保全、創出、活用		
目標	「みどりの基本計画」に位置付けられた施策を推進し、みどりの保全及び創出を図る。 また、「みどりの基本条例」に規定した制度等を創設し、市民が「みどり」にふれあえるよう、身近なみどりを増やすこと。 など			
目標達成に必要なこと	「みどり」に関する施策効果の検証および進行管理を行いながら、「横須賀市みどりの基本計画」及び「みどりの基本条例」に位置づけられた施策を推進し、「みどり」の保全及び創出を図ること。			
具体的な事業内容	1 自然環境や社会情勢などの変化に対応した「みどりの基本計画」の改定 2 「環境審議会みどり政策推進部会」「環境総合政策会議」「環境総合政策会議みどりの基本推進部会」の運営 3 適宜、関係各課と連携等し、「みどりの基本計画中間見直し」の推進施策の展開			

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った重要な項目12)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
----------------------------------	---------	-------	-------	-------	----

① 武山地区樹林地管理モデル業務	業務委託	0	0	1	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② みどりの基本計画中間見直し業務	業務委託	1	0	0	件
③ みどりの花バトンリレー	環境教育	0	1	1	件

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
-----	---------	---------	---------	---------	----

a	事業費（予算現額・支出済額）	3,614	1,370	4,981	5,083	千円
	主な活動の経費（※上記(2)①）	0	0	4,820	4,832	千円
	その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	3,614	1,370	162	251	千円
b	人件費	5,842	8,431	8,396	8,449	千円
	正規職員	0.7	1.0	1.0	1.0	人
	再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
	総経費（a + b）	9,456	9,801	13,377	13,532	千円



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	・「みどりの愛護」のつどい記念植栽等業務の施行 ・みどりの花バトンリレーの実施	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	武山地区樹林地管理モデル業務委託の実施
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	計画の本改定を概ね10年毎に、中間見直しを中間年(概ね5年)に施行するため、一定額の経費が必要となる。 令和5～6年度に武山地区樹林地管理モデル業務委託を実施する。		
今後の事業 の方向性	みどりの基本計画の全面改定について、総合計画と整合を取りながら、改定時期を見直していく。 本計画は法定計画であり、公園緑地事業を国の交付金事業とするためにも計画は必要である。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	里山の環境保全・活用事業	所管部課名	建設部
			自然環境・河川課

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進					
	小柱	①身近な自然環境の保全、創出、活用					
目標	荒廃した里山的環境を再生し、市民が身近な自然にふれあえる環境を創出する。						
目標達成に必要なこと	市民・団体・企業・行政が役割分担しながら里山的環境を保全・活用していく体制をつくる。						
具体的な事業内容	(1) 里山的環境の場の整備（長坂地区における保全・活用等） (2) 保全・活用活動の充実と拡大（活動体制の充実、担い手育成、活動手法の検討）						

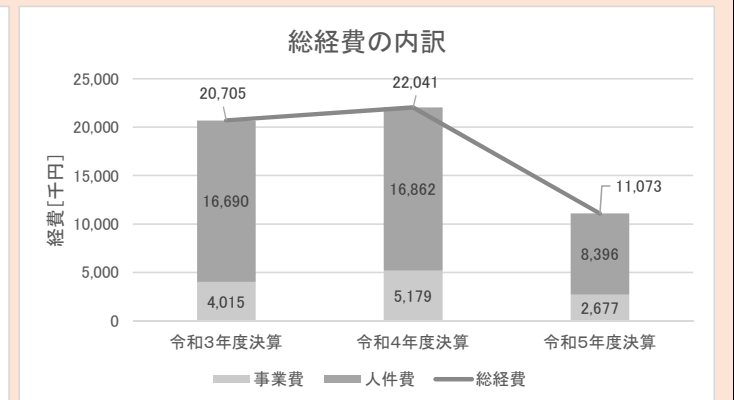
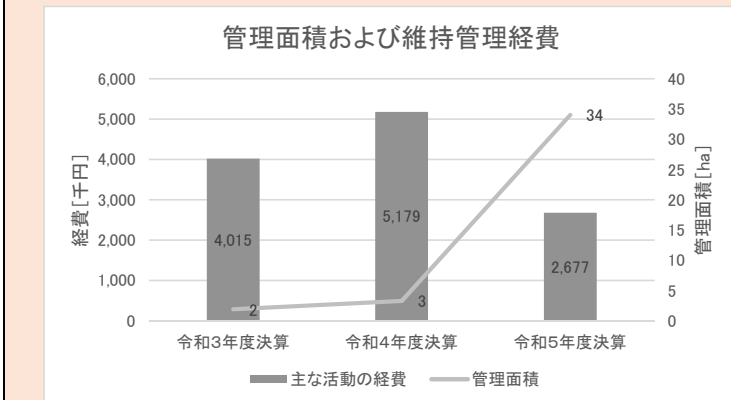
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 里山再生作業・維持管理	管理面積	2	3	34	ha
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,015	5,179	2,677	2,918	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	4,015	5,179	2,677	2,918	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	16,690	16,862	8,396	8,449	千円
正規職員	2.0	2.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	20,705	22,041	11,073	11,367	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	トイレの建築工事にに向けた設計委託を実施した。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	新たに水道を敷設し、トイレを整備(建築)した。
---	--------------------------------	---	--------------------------------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	・民官連携里山エリアの開始に伴い、本事業に関する管理面積が大きく増加している。 ・経費では、水洗トイレの完成に伴い仮設トイレに関する経費が減少している。
---	---

今後の事業 の方向性	・公募した活動団体や長坂緑地里山活動連絡会との民官連携により、里山活動を継続して実施する。 ・長坂緑地における施設整備や管理運用のルール作りを進めるとともに、将来的に自立した管理運営の担い手づくりを行う。
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	身近な自然の保全とふれあい推進事業	所管部課名	建設部
			自然環境・河川課

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画	横須賀市みどりの基本計画
	中柱	自然環境の保全・活用と循環型社会の推進					
	小柱	①身近な自然環境の保全、創出、活用					
目標	身近な自然環境の保全・活用に対する意識向上を図り、市民が将来にわたり身近な自然とふれあえる場と機会を提供する。						
目標達成に必要なこと	・横須賀の自然環境の魅力や大切さを知ってもらう機会をつくる ・活動団体を支援し、関係機関との連携を図りながら活動の輪を広げていく ・基礎的調査の継続的实施						
具体的な事業内容	(1)学区の自然体験事業 (2)自然観察会の開催 (3)自然環境調査の実施 (4)生物多様性の取り組み、自然環境の保全・活用に関する情報収集及び検討						

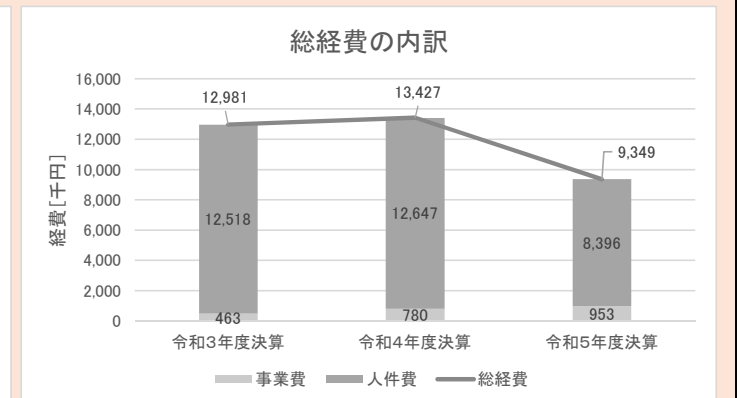
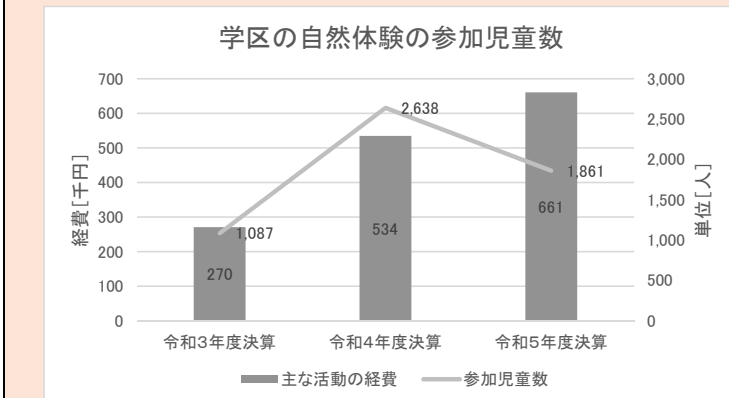
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 学区の自然体験事業	参加児童数	1,087	2,638	1,861	人
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 自然観察会の開催	参加者数(延べ人数)	40	20	40	人
③ 自然環境調査の実施	調査箇所	0	4	12	箇所

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	463	780	953	1,246	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	270	534	661	661	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）	193	246	292	585	千円
b 人件費	12,518	12,647	8,396	8,449	千円
正規職員	1.5	1.5	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	12,981	13,427	9,349	9,695	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	令和3年度は受け入れ学校数が5校だったが、令和4年度は10校に増やした。	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	令和5年度は受け入れ学校数を12校に増やした。コロナが5類に移行したため、応募校数も多く、授業も一年を通して実施できた。
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	・学区の自然体験事業は受け入れ学校数を2校増やしたが、学校ごとの実施回数(追加授業)が少なかったため、実施回数及び参加児童数が令和4年度に比べて少なかった。令和5年度の自然観察会は天候に恵まれ予定通り実施できたため、参加者数が令和4年度に比べて多くなった。申し込みは引き続き増加傾向にある。 ・令和5年度に、学区の自然体験事業の受け入れ学校数を2校増やしたため、委託料が増加した。また、令和4年度から4年計画で、異なる環境における自然環境調査を開始し、調査協力者の謝礼等が増加した。		
今後の事業 の方向性	令和6、7年度は、学区の自然環境事業の受け入れ学校数を12校で実施する。また、自然環境調査は調査場所を変えて引き続き実施する予定である。		

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	猿島公園管理事業	所管部課名	建設部
			公園建設課

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
------	----	------	-----	-------	----	---------	----

分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務			
根拠法令				
実施計画	大柱	歴史や文化・スポーツを生かしたにぎわいの再興	分野別計画	
	中柱	ルートミュージアムのさらなる強化		
	小柱	①ティボディエ邸と周辺の仕掛けづくり		
目標	近年の来園者の増加に伴い、既存トイレの浄化処理能力が不足していることから、新たにトイレを新築し、利用者に快適なサービスを提供するものである。			
目標達成に必要なこと	猿島公園のトイレ新築及び継続的な施設の改修			
具体的な事業内容	既存トイレの負荷低減と不具合を生じている島内施設の再整備を行う。			

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
---	---------	-------	-------	-------	----

① 施設整備	工事・委託	3	3	3	件
その他の活動実績	活動（指標）名	令和３年度	令和４年度	令和５年度	単位
②					
③					

区 分	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位
-----	---------	---------	---------	---------	----

a	事業費（予算現額・支出済額）	112,493	176,632	29,569	35,267	千円
	主な活動の経費（※上記(2)①）	112,493	176,632	29,569	35,267	千円
	その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b	人件費	4,173	5,059	4,198	4,225	千円
	正規職員	0.5	0.6	0.5	0.5	人
	再任用職員（短時間を含む）					人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
	総経費（a + b）	116,666	181,691	33,767	39,492	千円

工賃 手託(世数) 総経費(本記)



年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和3年度 トイレ新築改修工事、猿島栈橋海域底質調査業務、猿島栈橋係留負荷軽減業務 令和4年度 トイレ新築改修工事、トイレ新築改修工事管理業務委託、猿島栈橋係留負荷軽減業務 令和5年度 管理棟ウッドデッキ改修工事、猿島砲台跡第二砲台塁道危険箇所対策工事、猿島砲台跡第二砲台塁道道路線測量業務	
今後の事業 の方向性	猿島公園の来園者数はこの数年で約1.5倍になり、利用者増に合わせた利便性を維持出来ない状態を迎えており、また、自然災害発生に伴う崩落などにより公開を一時的に中止している箇所も複数ある。市内外から来園者を継続的に呼び込むためにも、安全で快適な環境の提供が必須であり、本市有数の観光資源に見合った改修を行う。	

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和3年度 トイレ新築改修工事、猿島栈橋海域底質調査業務、猿島栈橋係留負荷軽減業務 令和4年度 トイレ新築改修工事、トイレ新築改修工事管理業務委託、猿島栈橋係留負荷軽減業務 令和5年度 管理棟ウッドデッキ改修工事、猿島砲台跡第二砲台塁道危険箇所対策工事、猿島砲台跡第二砲台塁道道路線測量業務
今後の事業 の方向性	猿島公園の来園者数はこの数年で約1.5倍になり、利用者増に合わせた利便性を維持出来ない状態を迎えており、また、自然災害発生に伴う崩落などにより公開を一時的に中止している箇所も複数ある。市内外から来園者を継続的に呼び込むためにも、安全で快適な環境の提供が必須であり、本市有数の観光資源に見合った改修を行う。

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	久里浜1丁目グラウンドほか整備事業(継続事業)	所管部課名	建設部
			公園管理課(公園活用推進担当)

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和5年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画		
	中柱	公園の整備・活用						
	小柱	①新たな公園の整備						
目標	スポーツを核としたまちづくりを推進し、市外からの集客の促進、地域の活性化を図る。							
目標達成に必要なこと	市民がプロスポーツと触れ合う機会を充実させる。誇りや愛着を持てる環境を充実させる。							
具体的な事業内容	久里浜1丁目公園Ⅰ期工事(管理用建物ほか建築、管理用建物ほか電気、管理用建物ほか機械設備、グラウンドほか整備) 久里浜1丁目公園Ⅱ期工事(グラウンドほか整備) 委託(工事監理委託・測量)							

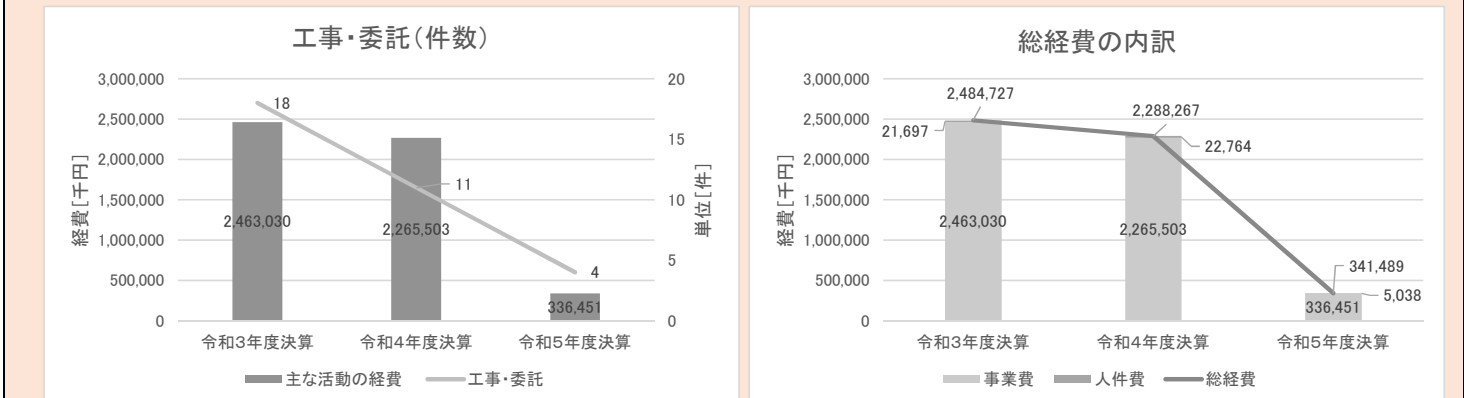
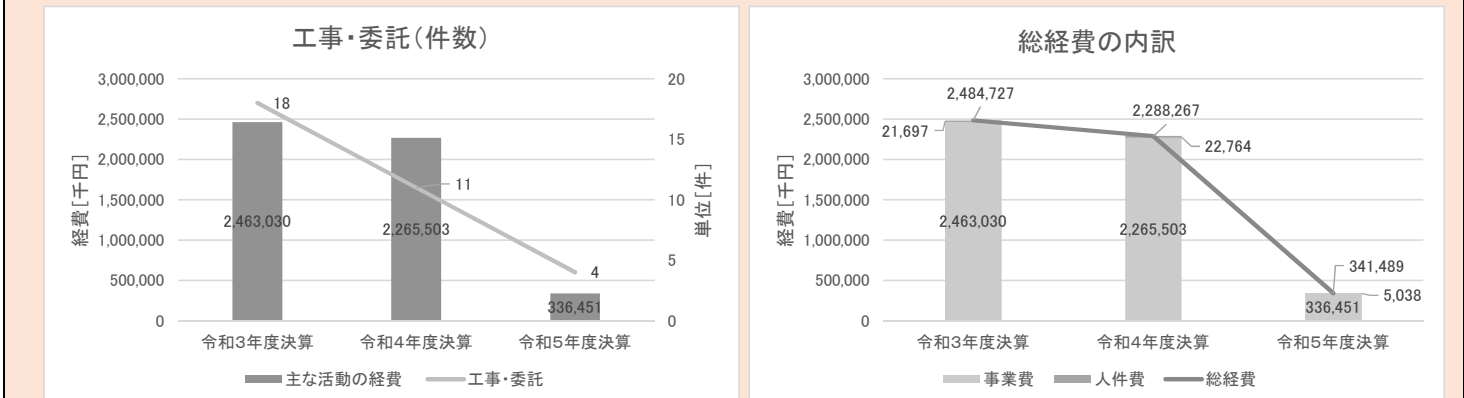
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 公園整備	工事・委託	18	11	4	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,463,030	2,265,503	336,451	281,442	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	2,463,030	2,265,503	336,451	281,442	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	21,697	22,764	5,038	5,069	千円
正規職員	2.6	2.7	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	2,484,727	2,288,267	341,489	286,511	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和5年5月に全施設が完成し、供用を開始した。
---	-------------------------

今後の事業 の方向性	整備事業が完成し、目標達成のために引き続き横浜F・マリノス、久里浜地域、ほか関係者らと連携しながら施設の活用の幅を広げ、価値を高める取り組みを進める。
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	公園リニューアル事業	所管部課名	建設部
			公園建設課

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につなぐ環境の保全・創出				分野別計画	
	中柱	公園の整備・活用					
	小柱	③公園の計画的な維持管理					
目標	既設公園及び緑地の諸施設のリニューアルを行い、利用者に快適な公園を提供する						
目標達成に必要なこと	地元調整、補助金の取得						
具体的な事業内容	池田1丁目公園遊具設置工事、田の浦公園プール解体工事設計業務委託、山科台公園遊具設置工事、夏島グラウンド時計設置工事、荒崎公園パーゴラ設置工事、安浦公園遊具設置工事、野比はなわ第2公園遊具設置工事、長坂公園遊具設置工事、佐原3丁目公園時計設置工事、不入斗公園遊具設置工事、追浜公園遊具設置工事、船越8丁目第2公園手洗場設置工事、公園プールアスベスト成分分析調査業務委託、田の浦公園用地分筆登記業務						

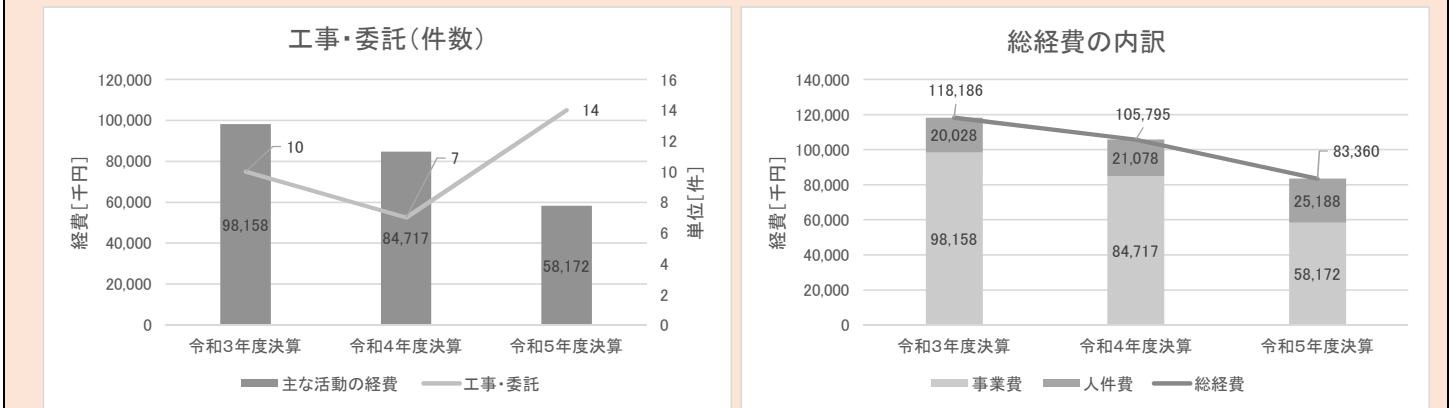
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 施設整備	工事・委託	10	7	14	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	98,158	84,717	58,172	62,825	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	98,158	84,717	58,172	62,825	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	20,028	21,078	25,188	25,347	千円
正規職員	2.4	2.5	3.0	3.0	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	118,186	105,795	83,360	88,172	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と	令和3年度 貝山緑地トイレ建替え実施設計業務ほか9件 令和4年度 貝山緑地トイレ建替え工事ほか6件
--------------------------	--

今後の事業 の方向性	誰もが安全で安心して利用できる公園を目指し、公園のバリアフリー化や老朽化した遊具の改修、公園施設の充実を進める。これにより、横須賀市のイメージアップを図るとともに、多様化する現代の利用者ニーズに対応した魅力的で安全な施設を提供し、市民サービスの向上を目指す。
---------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	大矢部弾庫跡地活用検討事業	所管部課名	建設部
			公園管理課(公園活用推進担当)

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	令和7年度	(サンセット)
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
実施計画	大柱	未来につながる環境の保全・創出				分野別計画		
	中柱	公園の整備・活用						
	小柱	①新たな公園の整備						
目標	大矢部弾庫跡地は横須賀市域のほぼ中心部に位置し、区域内には三浦メダガが生息する貯水池や歴史的にも貴重な深谷やぐら群があり、自然・歴史的資産と一体となった公園の整備を行う。							
目標達成に必要なこと	地元との合意形成、関係機関との連携、補助金の取得							
具体的な事業内容	大矢部弾庫跡地を活用した地域活性化のための基盤整備検討業務 大矢部弾庫跡地測量業務 大矢部弾庫跡地地質調査業務 埋蔵文化財調査等業務							

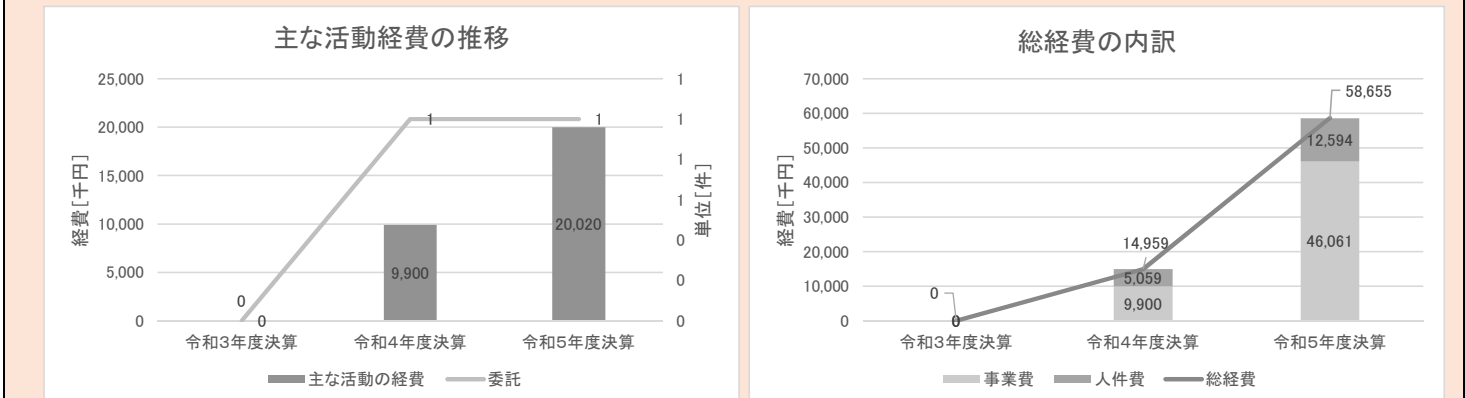
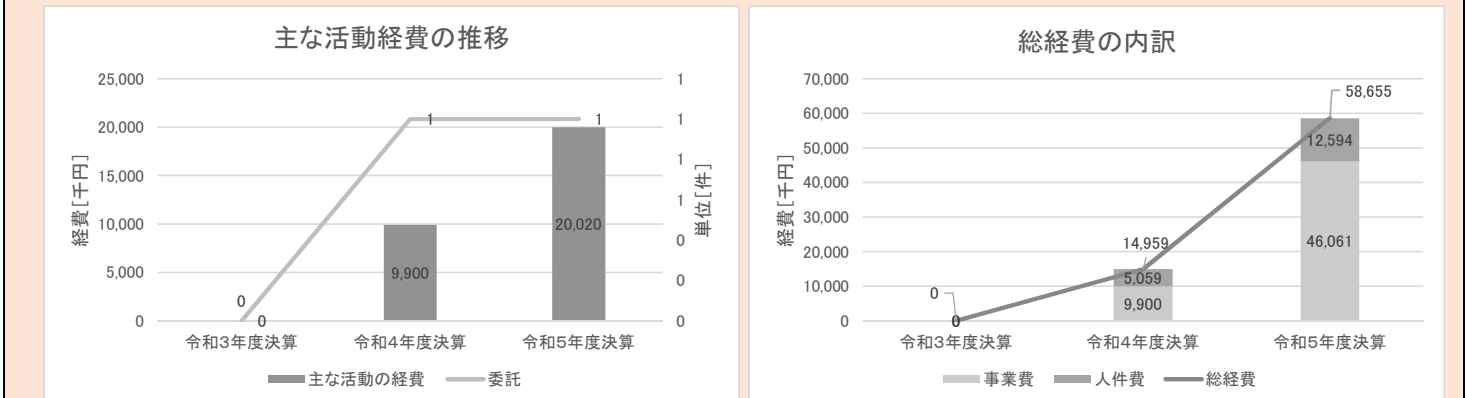
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するためにを行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 基盤整備検討調査業務委託	委託		1	1	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
② 測量・地質調査業務	委託			2	件
③ 埋蔵文化財調査等業務	委託			2	件

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分		令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a	事業費（予算現額・支出済額）	0	9,900	46,061	47,860	千円
	主な活動の経費（※上記(2)①）		9,900	20,020	20,019	千円
	その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）			26,041	27,841	千円
b	人件費	0	5,059	12,594	12,674	千円
	正規職員		0.6	1.5	1.5	人
	再任用職員（短時間を含む）					人
	会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
	総経費（a + b）	0	14,959	58,655	60,534	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
--------------------------------------	------	--------------------------------------	------

年度ごとの推移の分析 （【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等）	令和4年度に実施したに実施した大矢部弾薬庫跡地活用検討業務で民間事業者へのマーケットサウンディング実施等を行い公園としての活用方針決定及び国の承諾を得た。 令和5年度においては、令和4年度の調査結果等を踏まえ、新たな公園として整備するために基本計画を策定するとともに、持続的な運営を行っていくためにPPP/PFI導入可能性調査及び令和6年度以降の事業者公募開始に向けた公募条件等の検討を行った。
今後の事業 の方向性	令和6年度に事業者の公募・選定を行い、基本協定等を締結する予定 令和7年度以降に、選定された事業者による設計・公園整備を実施する予定

令和6年度 事務事業等の総点検																																										
実施計画事業		会計	一般会計		款	9	項	5	目	5	説明資料	97	項目番号	3																												
事務事業名	大規模集客公園施設改修事業									所管部課名	建設部																															
											公園建設課																															
(1) 事務事業の概要																																										
実施分類	補助金等	財源構成		国・県	受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																															
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																																									
根拠法令																																										
実施計画	大柱	未来につなぐ環境の保全・創出								分野別計画																																
	中柱	公園の整備・活用																																								
	小柱	③公園の計画的な維持管理																																								
目標	既設公園及び緑地の諸施設のリニューアルを行い、利用者に快適な公園を提供する。																																									
目標達成に必要なこと	地元住民、公園利用者及び指定管理者との合意形成、助成金の活用																																									
具体的な事業内容	4大拠点を中心とした公園の施設を改修する。																																									
(2) 本事務事業における主な活動の実績																																										
主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)					活動(指標)名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																
① 施設整備					工事・委託		0	4	5	件																																
その他の活動実績					活動(指標)名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																
②																																										
③																																										
(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																																										
区 分						令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和5年度予算	単位																																
a 事業費(予算現額・支出済額)						0	42,572	159,492	215,535	千円																																
主な活動の経費(※上記(2)①)						0	42,572	159,492	215,535	千円																																
その他の活動経費(※上記(2)①以外の経費)										千円																																
b 人件費						0	5,902	25,188	25,347	千円																																
正規職員						0.0	0.7	3.0	3.0	人																																
再任用職員(短時間を含む)										人																																
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)										千円																																
総経費(a + b)						0	48,474	184,680	240,882	千円																																
(4) 年度ごとの推移(【主な活動の実績(※上記(2)①)】と【総経費の内訳】)																																										
工事・委託(件数) <table><thead><tr><th>年度</th><th>主な活動の経費</th><th>工事・委託</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>42,572</td><td>4</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>159,492</td><td>5</td></tr></tbody></table> 総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和3年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和4年度決算</td><td>42,572</td><td>5,902</td><td>48,474</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>159,492</td><td>25,188</td><td>184,680</td></tr></tbody></table>															年度	主な活動の経費	工事・委託	令和3年度決算	0	0	令和4年度決算	42,572	4	令和5年度決算	159,492	5	年度	事業費	人件費	総経費	令和3年度決算	0	0	0	令和4年度決算	42,572	5,902	48,474	令和5年度決算	159,492	25,188	184,680
年度	主な活動の経費	工事・委託																																								
令和3年度決算	0	0																																								
令和4年度決算	42,572	4																																								
令和5年度決算	159,492	5																																								
年度	事業費	人件費	総経費																																							
令和3年度決算	0	0	0																																							
令和4年度決算	42,572	5,902	48,474																																							
令和5年度決算	159,492	25,188	184,680																																							
主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし				主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし																																				
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度 【長井海の手公園】ポンプ改修工事、インクルーシブ遊具設置工事、休憩施設改修工事 令和5年度 【追浜公園】硬式野球場音響設備改修実施設計業務、横須賀スタジアム音響・非常放送設備改修工事、 硬式野球場人工芝改修工事 【長井海の手公園】じゃぶじゃぶ池ろ過設備改修工事、エントランス棟建具改修工事																																									
今後の事業の方向性	長井海の手公園や追浜公園等は公園施設の老朽化に伴い、各所に不具合が生じている。そのため、今後も利用者が施設を安定的に利用できるよう、継続的に改修する。																																									

令和 6 年度 事務事業等の総点検

事務事業名	地域拠点公園施設改修事業	所管部課名	建設部
			公園建設課

(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
実施計画	大柱	未来につなぐ環境の保全・創出				分野別計画	
	中柱	公園の整備・活用					
	小柱	③公園の計画的な維持管理					
目標	既設公園及び緑地の諸施設のリニューアルを行い、利用者に快適な公園を提供する。						
目標達成に必要なこと	地元住民、公園利用者及び指定管理者との合意形成、助成金の活用						
具体的な事業内容	拠点となる公園やサテライト公園を中心とした公園の施設を改修する。						

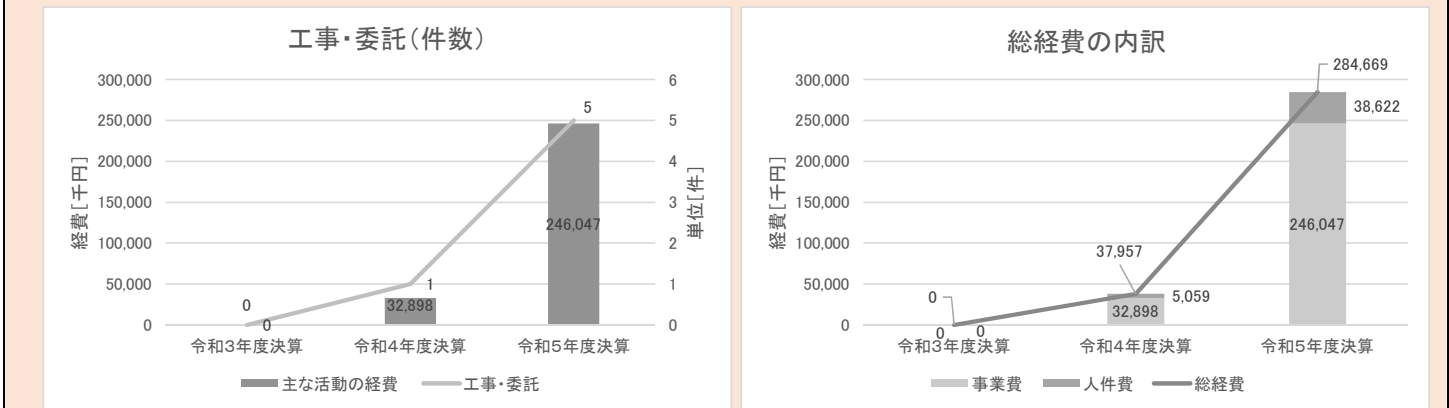
(2) 本事務事業における主な活動の実績

主な活動又は活動効果(目標を達成するために行った 重要な項目1つ)	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
① 施設整備	工事・委託	0	1	5	件
その他の活動実績	活動(指標)名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位
②					
③					

(3) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	32,898	246,047	264,756	千円
主な活動の経費（※上記(2)①）	0	32,898	246,047	264,756	千円
その他の活動経費（※上記(2)①以外の経費）					千円
b 人件費	0	5,059	38,622	38,865	千円
正規職員	0.0	0.6	4.6	4.6	人
再任用職員（短時間を含む）					人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					千円
総経費（a + b）	0	37,957	284,669	303,621	千円

(4) 年度ごとの推移（【主な活動の実績（※上記(2)①）】と【総経費の内訳】）



主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R3年度⇒R4年度	特になし	主な活動に係る変更点 (※上記(2)①) R4年度⇒R5年度	特になし
年度ごとの推移の分析 (【主な活動実績】と 【総経費の内訳】の増 減理由等)	令和4年度 不入斗公園陸上競技場観覧席改修工事 令和5年度 佐原2丁目公園リーフスタジアム人工芝改修工事、 長坂緑地トイレ新築工事、長坂緑地上水道敷設工事、長坂緑地上水道敷設事に伴う測量業務、 不入斗公園陸上競技場改修工事		
今後の事業 の方向性	拠点となる公園やサテライト公園は、公園施設の老朽化が進んでいる。そのため、今後も利用者が施設を安定的に利用できるよう、継続的に改修する。		